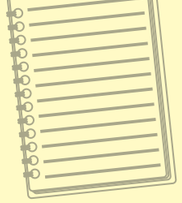
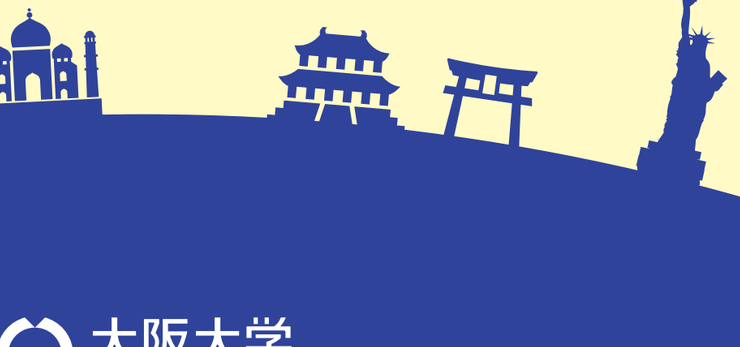
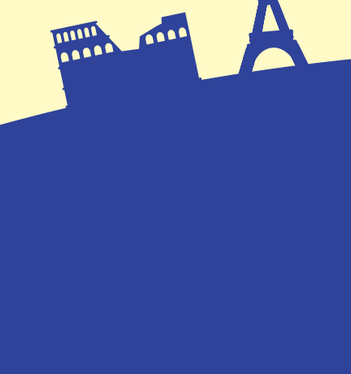
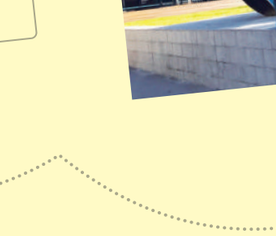








阪大生のための

海外留学ガイドブック

STUDY ABROAD GUIDEBOOK for Osaka University Students | 2020-2021

OSAKA UNIVERSITY

2020年4月発行

国際教育交流センター
国際部国際学生交流課

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
06-6879-7102
www.osaka-u.ac.jp

大阪大学 海外留学　@outbound.ou
https://www.facebook.com/outbound.ou/

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

はじめに

大阪大学では、「地域に生き世界に伸びる」を実践していくためにグローバル化を推進し、社会への貢献を目指しています。その取り組みのひとつに、2021年までに海外留学に行く学生を全学生数の4%から8%に伸ばし、多様なグローバル人材を養成していくという目標を掲げています。学部生と大学院生をあわせた全学生数は約23,000人ですから、大体1,800人が留学へ行く計算となります。今このガイドブックを読んでくださっている皆さんには、是非その中の一人となって、大阪大学のグローバル化の一端を担っていただければと思っています。

留学は自分を大きく成長させる貴重な機会です。本学では派遣プログラムが多数ありますので、「視野を広げたい」「語学力を向上させたい」「コミュニケーション力をつけたい」「専門的に学びたい」といった目的や目標を持ってそれに適したプログラムを選び、より一層充実した留学を実現してほしいと期待しています。

ただ、所属している学部・研究科に留学経験者が少なかったり、留学に興味はあるものの情報が得られなかったりすると、躊躇してしまう方もいるようです。大阪大学では、教員や学生による留学相談や説明会、奨学金や留学中の危機管理サービスの情報提供を適宜行い、皆さんの不安を取り除くお手伝いをしています。留学への思いを憧れにとどめることなく、自分の経験にするために、本学が提供する機会を存分に活用してください。

留学を通して皆さんが成長し、人生の選択肢と活躍する機会が増えることを心より願っています。

大阪大学 国際教育交流センター センター長　有川 友子

CONTENTS
目次

はじめに …… 01

留学チェックチャート …… 03

Ⅰ はじめの一歩 …… 05
1. オリエンテーションの案内 …… 05
2. 海外留学の概要 …… 05
(1) 留学の方法 …… 05
(2) 留学の手続き …… 05
(3) 留学先での科目履修と帰国後の単位認定 …… 05
(4) 留学と将来の進路 …… 06
3. 留学の準備 …… 06
(1) 本学でできること …… 06
(2) 留学実現に向けた準備 …… 06
4. 語学能力試験等 …… 07
(1) TOEFL®テスト (Test of English as a Foreign Language) …… 07
(2) IELTS (International English Language Testing System) …… 07
(3) 英語以外の言語の能力試験 …… 07

Ⅱ 留学経験者からの体験談 …… 08

Ⅲ 大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学 …… 11
1. 大阪大学交換留学制度とは …… 11
(1) 制度のポイント …… 11
(2) 大学間交換留学募集スケジュール …… 11
2. 交換留学決定までの流れ …… 12
[交換留学に向けた準備]
(1) 学内選考への応募 …… 12
(2) 選考方法及び内定通知 …… 12
(3) 交換留学派遣候補者内定通知後の協定校への申請 …… 12
(4) 交換留学生としての派遣の決定 …… 13
(5) 留学経験者等の紹介 …… 13
(参考) 大学間交換留学 学内応募書類 不備例一覧 13
3. 交換留学決定後の流れ …… 14
(1) 協定校への留学準備 …… 14
(2) 渡航の準備 …… 14
(3) 本学での手続き …… 15
(4) 健康面について …… 15
4. 留学生活 …… 15
(1) 留学生活スタート …… 15
(2) 大阪大学への連絡 …… 16
(3) 勉学・研究・日常生活 …… 16
(4) 健康管理 …… 16
(5) 留学継続が困難になったとき …… 17
(6) 安全の確保と危機管理 …… 17
(7) 交換留学を終了してから帰国までの流れ …… 17
5. 帰国後 …… 17

Ⅳ 交換留学以外の留学制度・語学研修・インターンシップなど …… 18
1. 語学留学(私費留学) …… 18
2. 海外インターンシップ・海外ボランティアについて …… 18
3. 留学関連情報リンク …… 18
4. 交換留学以外の派遣プログラム …… 19

Ⅴ 危機管理対応マニュアル …… 21
海外留学時等の危機管理対応 …… 21
海外留学時等の緊急連絡体制 …… 22

Ⅵ 海外留学 Q&A …… 23
(1) 留学時期・期間について …… 23
(2) 留学に必要な語学力について …… 24
(3) 現地での生活について …… 24
(4) 留学の費用について …… 24
(5) 留学先について …… 24
(6) 交換留学制度について …… 25
(7) 大学間交換留学の学内選考、応募について …… 26

Ⅶ 海外留学に関する資料 …… 27
1. 奨学金制度案内 …… 27
2. 大阪大学・学生交流協定校（大学間）一覧 …… 29
3. 大学間学生交流協定校情報 …… 31
4. 過去の交換留学派遣人数実績表（協定校別)・大学間 … 37
5. 過去の交換留学派遣人数実績表（協定校別)・部局間 … 40

Study Abroad Check Chart

留学について考えている皆さんの疑問を解消します！

質問に答えて進み、関連ページを参照して、あなたにぴったりの留学スタイルを探してください!

START

大阪大学に在学中に留学したい

NO

留学は卒業後を考えている

YES

学位取得を目指す留学

海外留学の概要 ▶▶▶ P.5-6

NO

このガイドブックをきっかけに留学に興味をもっていただければ幸いです

- はじめの一歩 ▶▶▶ P.5-7
- 留学経験者からの経験談 ▶▶▶ P.8-10

留学について問い合わせ:
国際教育交流センター　go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp

YES

どのような留学がしたいか決まっている

NO

留学経験者の体験談を参考にしてください

- 留学経験者からの経験談 ▶▶▶ P.8-10
- 海外留学の概要 ▶▶▶ P.5-6

YES

長期(1学期間以上)の留学を希望する

NO

春休み・夏休みを利用して留学したい

NO

このガイドブックをきっかけに留学に興味をもっていただければ幸いです

- はじめの一歩 ▶▶▶ P.5-7
- 留学経験者からの経験談 ▶▶▶ P.8-10

YES

休学せずに留学をしたい

NO

私費留学・インターンシップ

- 海外留学の概要 ▶▶▶ P.5-6
- 私費留学・海外インターンシップ・海外ボランティアについて ▶▶▶ P.18

YES

交換留学制度

- 大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学 ▶▶▶ P.11-17
- 大阪大学協定校一覧 ▶▶▶ P.29-36

YES

大阪大学の短期派遣プログラム

- 交換留学以外の派遣プログラム ▶▶▶ P.19-20

どの留学にも共通すること

- 語学能力試験について知りたい方は P.7
- 大阪大学の危機管理対応について知りたい方は P.21-22
- 留学に関するQ&Aは？ P.23-26
- 奨学金について知りたい方は P.27-28

I はじめの一歩

1. オリエンテーションの案内

本学は、海外留学を考えている皆さんを対象に、「海外留学オリエンテーション」と「大学間交換留学オリエンテーション」を実施しています。「海外留学オリエンテーション」は、毎年4月に新入生へ向けて豊中キャンパスで、「大学間交換留学オリエンテーション」は6月頃に交換留学(大学間派遣)制度を中心として、豊中・箕面の各キャンパスで実施します。また、2019年度から「海外留学フェア」を実施し、留学について皆さんが一層の情報収集ができる機会を設けることになりました。留学を考えている方はぜひ参加してください。

[2019年度に実施したオリエンテーション]

海外留学オリエンテーション	
① 2019年4月16日(火) 18:00~19:00 豊中キャンパス	1. 海外留学の意義と効果について　2. 大阪大学 大学間交換留学(派遣)制度について 3. 各種海外研修プログラムについて　4. 留学相談・支援サービスについて 5. 国際交流科目について　6. IELTS学内実施について　7. 留学体験談について 8. 留学と就職について(協力:リクルートキャリア)※4月24日(火)のみ　9. 質疑応答
大学間交換留学オリエンテーション	
① 2019年6月4日(月) 12:10~12:50 箕面キャンパス ② 2019年6月5日 (水) 18:00~19:00 豊中キャンパス ③ 2019年12月4日 (水) 18:00~19:00 豊中キャンパス	1.大学間交換留学制度、申請の方法と注意点 2. 交換留学対象奨学金等 3. 教員及び交換留学帰国学生による留学相談サポート体制 4.交換留学経験学生による留学体験談発表 5. 質疑応答

2. 海外留学の概要

(1)留学の方法

留学には、大まかに以下の4つの方法があります。

1. 夏季/春季休業期間中に参加する語学研修等
2. 本学の修業年限内に、在学した状態で交流協定校へ交換留学する方法(以下、交換留学)
3. 休学して留学する方法
4. 大学卒業後、海外の大学の正規課程に入学して学位取得を目指す方法

方法によって、受け入れ先での身分、修得単位の取扱いに違いが生じます。皆さんの就職や進学等の将来設計、自分に適した留学時期などについてよく考え、目的に合った方法での留学を目指してください。

(2)留学の手続き

本学と海外の大学との交流協定に基づかない自主的な留学(以下、私費留学)や、海外の大学の正規課程に入学し学位取得を目指す場合には、休学(あるいは退学、卒業/修了)することになります。休学等の手続きの詳細は、所属学部・研究科の教務担当係に問い合わせてください。交換留学の手続きは、『Ⅲ.大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学』で詳しく説明します。

(3)留学先での科目履修と帰国後の単位認定

交換留学では、卒業に必要な単位数を修得するために、留学先で履修した科目の単位を本学の単位に認定できる場合があります。ただし、私費留学や、海外の大学の正規課程に入学し学位取得を目指す留学では、原則として、単位認定ができません。
以下の表を参考にしてください。また、本学での単位認定については、所属学部・研究科等の教務担当係に相談してください。

	海外の大学での学位取得	本学の授業料	留学先大学の授業料	修業(在学)年限算入	単位認定	メリット
在学しての留学(修業期間中) 大阪大学交換留学制度	不可	払う	払わない	可	可(所属学部・研究科の承認必要)	大学(交換留学担当部署)のバックアップ
休学しての留学	可	払わない	払う	不可	不可(ただし、所属学部・研究科によって承認する場合もある)	協定校以外でも自由に留学先が選べる
卒業後の留学 (大学の関与外)	—	—	払う	—	—	自由にさらなるキャリアアップが望める

(4)留学と将来の進路

留学は、皆さんの大学生活と卒業後の進学・就職、ひいては将来の人生設計とも密接に関係してきます。特に、休学の有無や留学期間によって、卒業時期が変更する可能性があるため、将来の進路に影響することがあります。充実した留学生活を送り十分な成果をあげるためにも、「なぜ留学するのか?」という目的意識をはっきりさせて、将来を見据えた留学計画を立てることが大切です。

これまで留学した本学学生の例:

学部時代に留学して卒業後に就職 / 大学院在学中に研究留学 / 帰国後、日本で大学院に進学 / 卒業後、海外の大学院に進学

3. 留学の準備

(1)本学でできること　～「留学したいけれど、どうしたらいいかわからない」と思っている人へ ～

手始めに本学の中で留学に近い体験ができます。

『国際交流科目』の受講

英語で行われる「国際交流科目」は、本学で学ぶ外国人留学生と一緒に、授業を受けることができます。「国際交流科目」は毎学期開講されているので、詳細はKOANで確認してください。本学学生は誰でも履修できますが、学部・研究科等によっては卒業要件単位とならない場合がありますので、受講の際は各学部・研究科の教務担当係に確認してください。

外国人留学生チューターへの応募

チューター制度とは、渡日後間もない外国人留学生に対し、教育・研究について個別の課外指導、日本語指導等や、日常生活アドバイスを行うもので、留学生と交流できる絶好の機会となります。全学教育推進機構や各学部・研究科等で募集しています。他にも、留学生と出会える場として、以下があります。

- **B.S.P(Brothers and Sisters Program)**
  留学生支援のためのボランティアグループで、メンバーは本学の学生です。国際教育交流センターと協力し、春と秋のキャンパスツアーや歓迎パーティなど様々な形で留学生支援・交流に貢献しています。
- **多言語カフェ**
  全学教育推進機構(豊中キャンパス)で、昼休みに開催されています。英語をはじめ、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、朝鮮語(韓国語)等の言語で留学生と楽しくおしゃべりできます。(https://www.celas.osaka-u.ac.jp/students/international/cafe/)
- **Project HELP!**
  海外留学に向けて英語能力を向上させたい本学の学生 "Mentee" と、その英語学習をサポートする意思のある"Mentor" (主に本学への留学生。母語は英語に限りません)が1対1のマッチングの元、おおよそ3か月の期間内に8回(1回につき90分)のメンタリングを行うプログラムです。
- **各キャンパスの国際教育交流センター(IRIS、豊中分室、箕面分室)**
- **各学部・研究科等の留学生相談室**

このように、本学でも多くの機会を用意していますので、積極的に調べ、活用して留学実現に役立ててください。

(2)留学実現に向けた準備

留学実現に向けた具体的な準備は、以下を参考にしてください。また、交換留学制度の詳細は、Ⅲ章を参照してください。

①行きたい大学、専攻分野、履修科目を選ぶ

どこに、何を勉強しに行くのか決めましょう。目的を持った留学の方が留学計画を決めやすく、充実した留学となります。留学先を選ぶときは、公式ウェブサイトを中心によく調べて決めてください。口コミサイトやブログ、過去の情報は古く不確かなものも多いので参考にしないようにしましょう。

②留学に必要な語学能力や学力を確認する

海外の大学の多くは、留学生に対し、その大学での修学・研究に支障の無いと判断される語学能力や学力を要求しています。そのため、留学するにはその要件をクリアしなくてはなりません。特に英語圏のほぼ全ての大学では、要件となる TOEFL、IELTS 等 (p.7) や成績の最低スコアが定められています。条件を満たす語学能力や学力の取得には時間がかかるため、事前に準備を行ってください。成績基準となる GPA(Grade Point Average) は 3.0 以上が望ましいです。

I はじめの一歩

語学能力試験のスコアが必要な場合は、必要な時期までにスコアシートのコピーが提出できるよう、計画的に学習・受験してください。英語以外の言語を留学に使用する方も、なるべく公式のテストを受けるようにしましょう。現在は要件になくても、要件が変更し、公式テストのスコア提出を求められる場合があります。

また、国際部国際学生交流課では IELTS/ TOEFL iBT®/ GRE® のテキストの貸出しを行っていますので、希望者は問い合わせてください。

③留学の時期と期間を決める

本学に在学している期間の、いつの時点で、どのくらいの期間、留学したいのかを決めましょう。交換留学は、通常約 1 年前から申請準備を始めますので、留学時期から逆算して具体的な準備計画を立ててください。つまり、申請時期までに、1) 具体的な希望大学が絞られていること、2) 留学に必要な語学力の要件を満たすことが求められます。

計画を立てるにあたっては指導教員や家族とよく相談し、留学終了後の大学院入試や就職活動など将来の見通しについてもしっかり見極めておくことが必要です。

留学の必要経費も留学期間によって変動します。おおまかに、日本での準備費用には、日本で加入しておく海外旅行保険、渡航費、一時宿泊費、旅券申請費、語学試験費等があり、渡航先での費用には、教科書・文具費、住居・食費、現地医療保険、雑費等が当てられます。早めに方策を立てましょう。

④迷ったら

留学を迷うときは、以下のことを参考にしてください。

1）海外留学を経験した学生が書いた留学体験談
　マイハンダイに掲載しています。最新情報は [大阪大学 海外留学] の Facebook ページを参照してください。

2）海外留学経験学生による留学相談
　日時・場所の詳細は KOAN の掲示板を確認してください。

3）国際教育交流センター教員による海外留学に関する個別相談
　各キャンパスで行っています。留学相談の予約は、留学ポートフォリオ（https://exportfolio.ciee.osaka-u.ac.jp）をご覧ください。海外留学に興味があるけれど、何から始めたらいいか分からないという方も、留学に少し興味がある方も、ぜひこの機会に留学相談サービスを活用してみてください。

4. 語学能力試験等

(1) TOEFL® テスト(Test of English as a Foreign Language)

TOEFL® テストは、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストで、大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。TOEFLテストには、TOEFL ITP® テスト(Institutional Test Program)とTOEFL iBT® テスト(Internet-based Test インターネット版TOEFL® テスト)があります。TOEFL ITP® テストは、団体向けテストプログラムのため、留学への応募には使用できません。詳細は、下記ウェブサイトを参照して下さい。

▶国際教育交換協議会(CIEE)　https://www.cieej.or.jp/

(2) IELTS　(International English Language Testing System)

IELTSは、海外留学や研修のために英語力を証明する必要のある人向けのテストとして、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等の大学で、英語力審査の基準に採用されています。大学による違いはありますが、留学への応募には、概ね文系で6.5、理系で6.0以上のスコアが要求されます。大学によってはセクション毎のバンドスコアの最低基準を設定していることがあります。IELTSにはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類がありますが、留学に使用できるのはアカデミック・モジュールのみです。また、2015年4月には、新たに「IELTS for UKVI(IELTS for UK Visas and Immigration)」が導入されました。IELTS for UKVIテストの内容は従来のものと同じですが、「CCTV(映像監視システム)の監視下での試験実施」という点で異なります。イギリスの大学へ留学を希望する場合は、従来のIELTSやTOEFL iBT®は受け付けず、IELTS for UKVIのみ有効である大学が多いので注意してください。なお、大阪大学では『IELTS説明会』及び『IELTS学内試験』を実施しています。詳細はKOAN掲示板等を通してお知らせします。

▶公益財団法人日本英語検定協会　www.eiken.or.jp/ielts
▶一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)　https://www.jsaf-ieltsjapan.com/
▶ブリティッシュ・カウンシル(IELTS for UKVI)　https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts

(3) 英語以外の言語の能力試験

(参考)URL一覧掲載

II 留学経験者からの体験談

「自分を変えた4週間」

植本 彩英（文学部 人文学科 学士課程）

● 2019年8月～2019年9月
ニュージーランド オタゴ大学 語学留学

私が留学を決めたきっかけは自分探しです。大学３年生になって、友人と就職活動の話をすることが多くなり、自分の将来について以前より深く考えるようになりました。今まで国際交流とは無縁の人生を送ってきたのですが、全く違う環境で生活する体験はこれからの財産になると思い、親に頼み込んで語学留学に行きました。

留学中は、普段ならやらないようなことに挑戦することを心がけていました。例えば、阪大からの留学生グループのリーダーを務め、授業では積極的に発言するようにしました。その結果、以前よりも人前で発言することへの抵抗がなくなりました。

一方で、異文化交流ならではの大変さも学びました。英語でのコミュニケーションは、日常会話ならまだしも政治などの難しい話になるとうまく通じずに歯がゆさを感じました。また、生活の些細なことから日本との違いを感じ、自国の文化について客観的に見ることができました。

留学を通して、私の人生に対する見方は大きく変わりました。今まであらかじめ定まっている一本道のように見えた将来は自分の思い込みでしかなく、もっと自由な選択ができるということに気が付きました。短い期間の留学では、積極的に学ぼうとする姿勢が何より大事です。新しい環境に身を置けば自動的に何かが変わるわけではなく、逐一振り返ることで、その経験を学びに変えられると思います。留学先で過ごす時間をどのくらい密度の濃いものにするかは自分次第です。

「良いとこ取りプログラム」

森田 隆紘（工学研究科 博士前期課程 電気電子情報工学専攻）

● 2019年8月～2019年9月
アメリカ カリフォルニア大学デービス校
理系大学院生のための海外研修プログラム

この研修プログラムは、アメリカのカリフォルニア大学デービス校で英語とプレゼンについて4週間学び、その後の数日間は GAFA などの世界的企業の数々が本社を構えるシリコンバレーで文化と考え方を学ぶプログラムです。

院に入学して最初の説明会のときにこのプログラムのことを知って、「英語も学べてアメリカを知れて一流企業との交流もあって、何だこの良いとこ取りなプログラムは！？」と思い、直感で参加を決意しました。

デービスはほとんど晴れで、道も建物も全てが広々としており、街にはおしゃれなお店が立ち並ぶような住みやすい場所です。現地の人も皆とても優しく、まさに最高の環境での留学生活でした。そのおかげか、現地で生活することの心の負担は少なく、むしろ生活を楽しむことができ、強かった英語の苦手意識も自然となくなりました。プレゼンの授業はプロの方々がしてくださるのでとても分かりやすく、実践的なメニューでスキルを身につけることが出来ました。シリコンバレーでは、誰もが知る有名企業で活躍されている方の講演を聞いたり、一緒に昼食をとりながら会社の考え方について教えていただけたりなど、非常に貴重な経験が出来ました。

たった１か月のこのプログラムには、私の想像を遥かに越えた価値と感動が詰め込まれていました。皆さんも是非このプログラムの参加を検討してみてはいかがでしょうか。

II 交換留学生からの情報と体験談

「自発的に学んだ 10 ヶ月」

坂尾 英登志（外国語学部 外国語学科 英語専攻 学士課程）

- 2018年9月～ 2019年6月
  イギリス リーズ大学 交換留学

リーズでの学びの中心は自主学習でした。この「自主学習」がイギリスの大学最大の特徴だと思います。授業で扱うものは基礎的なもののみで、自主的に文献などを読んで知見を深めることが求められます。授業の他では、住んでいた寮が、イギリス人と留学生がともに住む寮であったことから、ご飯会などを通して文化交流を行いました。また、部活動やサークルに当たるsocietyがあり、Japanese societyとa cappella societyに所属しました。そのうちJapanese societyで知り合った方が、小学校の先生をされており、実際に小学校を訪問させていただく機会を2度いただきました。日本とイギリスの教育の違いを体得することができ、非常に学びの深いものであると感じました。

留学を通して、語学力の他に異文化コミュニケーションで考慮すべきものについて学び、文脈を読む文化のある日本とは異なり、自己の考えをきちんと発言しないと相手には伝わらないことを知りました。また、留学に行く前は、初めての長期滞在で不安ばかりでしたが、その不安も到着後間もなく払拭されました。留学生を支援する体制が整っていたり、街にも留学生を歓迎する雰囲気があったりと、非常に暮らしやすいものだったからです。不安でためらっているようであれば、ぜひ異文化に怯まず飛び込んでみてはいかがでしょうか。長いようですが体感はすごく短い、刺激的な留学生活が待っているはずです。

「挑戦と成長を遂げた二度の留学」

飯尾 健太郎（人間科学部 人間科学科 学士課程 卒業）

- 2012年8月～2013年5月
  アメリカ テキサスA&M大学 交換留学
  2018年1月～2019年12月
  アメリカ テキサスA&M大学 学位取得留学

私は学部時代に交換留学生としてアメリカのテキサスA&M大学に約1年交換留学し、人間科学部で交通安全に関する行動学を勉強。その後一般企業に約3年勤務した後、交通工学を学ぶため、JASSOの「海外留学支援制度（大学院単位取得型）」を利用し同大学の土木工学研究科に2年間学位取得留学しました。「交通事故を減らして人の命を救いたい」という思いと、その際に心理学だけでなく道路の設計者・運用者が持つ工学的な教養を身に付ける必要性を感じた事が進学の動機でした。

しかしいざ授業が始まると初めは分からない事だらけ。工学系の知識が乏しかった私は授業で出てくる用語の意味を調べたり数式の意味を一から考えたりする必要があり、1年目は他の学生と比べると同じ課題をこなす上にも多くの時間がかかりました。

2年目には次第に時間に余裕もでき、修了研究やその他の論文の執筆に注力する事ができました。研究の際には阪大の人間科学部で学んだ研究の心構えや論文の書き方が非常に役立ったため、阪大での学びの重さも再認識しました。修了前には所属研究科から全学の優秀学生賞に推薦して頂けたため、学生としては成長できたかなと思います。

私は二度留学を経験しましたが、もちろん留学しなくてもできる研究や経験は多くあります。しかし、今もし皆さんが迷っているならぜひチャレンジしてみて下さい。

「学部生が国連で活動できる、国連ユースボランティアって?」

内山 瑞貴（経済学部 経済・経営学科 学士課程）

- 2019 年9月～ 2020 年2月
  ザンビア UNIC (United Nations Information Centre; 国連広報 センター 国連ユースボランティア

私は、ザンビアで国連ユースボランティア（UNYV）としてUNIC（UN Information Centre；国連広報センター）で活動していました。私が派遣されたUNICルサカオフィスでは、国内の国連機関全ての広報を担当していて、毎朝、国内の新聞を５紙ほど読み、国連や、国連が取り組む問題をピックアップして要約する他、ザンビアのUNICEF、UNDP、UNHCRなど様々な機関のイベントの共同企画、広報物デザイン、Newsletterの作成、コミュニティ参画プロジェクト実施のお手伝いなどをしました。各機関のイベントや会議に参加し、他機関の国連職員とも親しくなれるのはUNICの魅力だと思います。様々なイベントに参加したのですが、特に思い出に残っているのはUN All African Gamesという、アフリカの国連職員の運動会です。今年はたまたまホストカントリーがザンビアで、14か国から1000人以上の国連関係者が集まるビッグイベントでした。他機関や、他国の職員の方々とスポーツを通じて一気に距離が縮まり、人生で1番といっても過言ではないくらい楽しい運動会でした。

週末は遠出したり、UNICEF、UNDP、UNHCRなど他機関のスタッフとご飯を食べに行ったりと楽しく過ごしていました。インターナショナルスタッフの皆さんは途上国での経験が長く、国連に入るまで様々な機関で仕事をされていたので、そういった話を学部生のうちにたくさん聞けるのもUNYVのいいところだと思います。

最初の頃は会議でなかなか発言できなかったり、新聞要約がうまくできず上司の手を煩わせてしまったりと悔しいこともたくさんありましたが、上司たちに恵まれたおかげで、5か月のなかで少しずつ自分の成長を感じることができました。国連で将来働くことや国連が取り扱う内容に少しでも関心のある人には本当に貴重で価値のあるプログラムだと思うので、ぜひチャレンジしてみてください。

「国際原子力機関でのインターンシップ」

石井 大翔（工学研究科 博士後期課程 環境・エネルギー工学専攻）

- 2018年5月～2018年10月
  オーストリア International Atomic Energy Agency
  (IAEA: 国際原子力機関) インターンシップ

オーストリア・ウイーンに本拠地を置く国連の専門機関であるInternational Atomic Energy Agency (IAEA: 国際原子力機関)で半年間のインターンシップを行いました。ウイーンは、ニューヨークとジュネーブに次ぐ第三の国連都市です。IAEAが籍を置くVienna International CenterにはIAEA以外にも国連工業開発等のオフィスが設置されています。

私は博士後期課程の専門研究で、原子力事故時に放出される放射性物質の放出挙動を研究しています。研究を通じて、身に着けた知識や経験をもとに、何か社会貢献がしたいと考えるようになりました。共同研究先の協力や、大学院の副専攻として履修している超域イノベーション博士課程プログラムの自主設計型の授業、またトビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム等様々な機会を利用してネットワークをつくりインターンシップの準備を1年ほどかけて進めました。

インターンシップ期間中は原子力・放射線事故が発生した際の情報発信拠点となる部署に所属し、人材育成を目的としたワークショップの運営などの業務を担当しました。異なる文化的、言語的、宗教的、言語的な背景をもつ世界各国の優秀な方々と働くためにも、自分の強み(専門性)を持つこと、積極的にコミュニケーションをとることがとても重要なことを学びました。語学留学も国外の長期滞在も経験がないなかでの長期インターンシップで、大変なこともありましたが、様々な方々に支えられて学びの幅を広げることができました。

Ⅲ 大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学

1. 大阪大学交換留学制度とは

(1)制度のポイント

交換留学とは、本学が海外の大学と締結している授業料相互不徴収の学生交流協定に基づく、1学期以上、1年以内の留学のことです。(大学と大学で締結しているものを『大学間協定』、学部や研究科単位で締結しているものを『部局間協定』と言います。)

ポイント

1 授業料相互不徴収
在籍大学に授業料を納めることで、留学先大学の授業料が免除されます。

2 留学期間が大学の修業年限に通算される
交換留学の場合、留年せずに標準修業年限内での卒業も可能です。

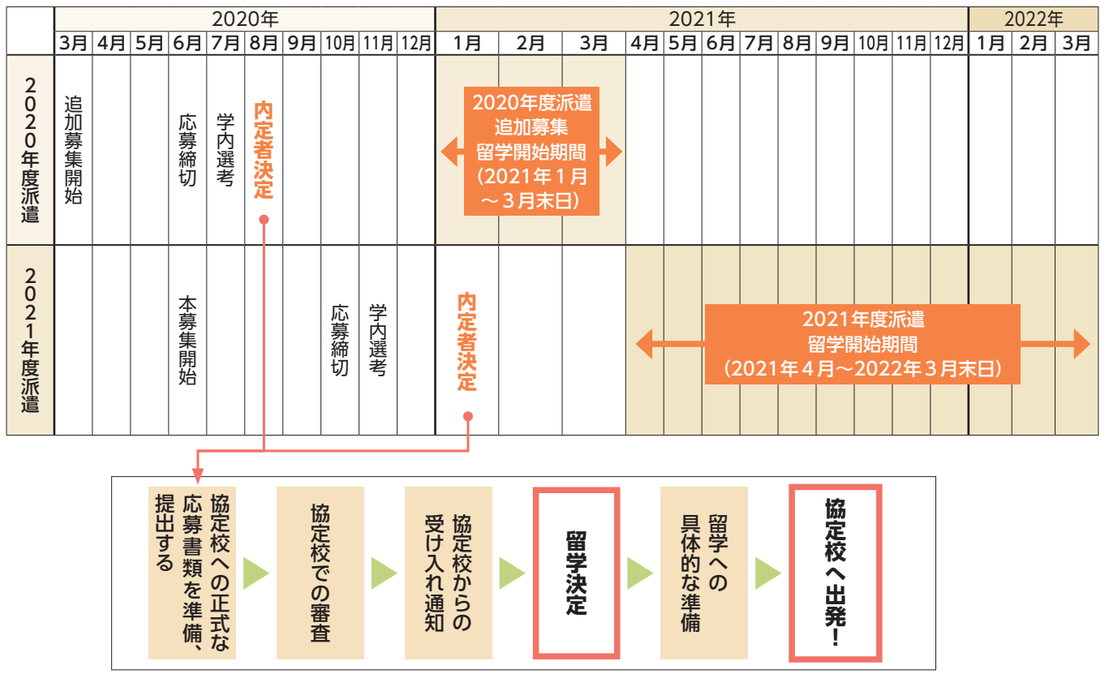
3 単位互換
留学先で修得した単位のうち、所属学部・研究科等で認められた単位は、本学の卒業要件単位に算入できます。

4 交換留学対象大学が多い
交換留学対象大学の一覧は、本ガイドブックの『大阪大学・学生交流協定校(大学間)一覧(p.29-30)』で見ることができます。
また、各大学の概要は『Ⅶ. 海外留学に関する資料〈3.大学間交流協定校情報〉(p.31-36)』から調べてください。
詳細は、"Exchange program, 留学を希望する大学名"で検索し、公式のウェブサイトから確認してください。
(Medical School, Law School, Business School等、専門家育成を目的とする学部や大学院では交換留学対象外となるところが多いです。)

5 部局間交換留学は所属学部・研究科等に確認
学部・研究科が独自に締結している協定(部局間協定)による交換留学を希望する場合は、スケジュールや募集方法が大学間交換留学とは異なります。所属学部・研究科等の教務担当係へ問い合わせてください。

(2)大学間交換留学募集スケジュール

交換留学のための手続きのスケジュールを参考までに示します(次年度以降のスケジュールは変更する可能性があります)。



2. 交換留学決定までの流れ

交換留学に向けた準備

①	**本ガイドブックの「Ⅶ. 海外留学に関する資料〈3. 大学間学生交流協定校情報 (p.31-36)」で、留学希望大学が要求する学力や語学能力の要件を確認** ※ 第一志望の協定校が定める交換留学生の成績基準 (GPA 等 3.0 以上推奨) ※ 第一志望の協定校が定める交換留学生の語学能力
②	**留学希望大学のウェブサイトで①の要件について、最新の情報を確認** ※ 同じ大学でも専攻分野次第で要件が異なることや、要件が予告無く変更される場合があります。
③	**条件をみたす留学先と、留学する期間を決定** ※ 卒業時期や必要経費も勘案すること
④	**単位互換に関して、指導教員や所属学部・研究科の教務担当係に早めに相談** ※ 留学計画や学内応募に必要な推薦状等も併せて相談すること

(1)学内選考への応募:留学開始時期の概ね1年前

応募には協定校が定める交換留学生の資格(学年、学力、語学能力等)を有することが条件となります。更に、留学先での勉学・研究に英語を使用する場合は、協定校が定める語学能力基準に加え、本学の語学能力基準(TOEFL iBT 79またはIELTS〈アカデミックモジュール〉6.0)も満たす必要があります。

※応募の詳細は、必ず『大阪大学 大学間交換留学募集要項』で確認してください。
※この募集は各学部・研究科等を通じて行うため、締切りは所属している学部・研究科の教務担当係へ確認してください。
※留学開始時期や期間について制限を設けている学部もありますので、応募の際は事前に教務担当係に相談し、その指示に従ってください。

(2)選考方法及び内定通知

大学間交換留学は、書類審査と面接審査によって学内選考されます。面接審査は、募集人数を上回る応募があった協定校への申請者に対し、必要に応じて行われます。選考結果は、**各所属学部・研究科教務担当係を通じて**皆さんにお伝えします。

(3)交換留学派遣候補者内定通知後の協定校への申請:留学開始の概ね半年前

選考の結果、交換留学派遣候補者として内定を得られれば、別途協定校へ正式な申請書類を提出します。それをもとに留学予定の大学で審査が行われ、受入が認められた後、本学からの受入通知をもって、交換留学が正式に決定します。

[申請方法]
国際部国際学生交流課から送付される『申請に関する案内メール』に従って必要な手続きを完了してください。

[必要書類の提出先]
国際部国際学生交流課が指定した期日までに必要書類を所属学部・研究科教務担当係を通じて提出してください。

※質問がある場合は、国際部国際学生交流課へ連絡してください。**許可なく協定校へ連絡を取らない**でください。
※提出期限や申請方法は協定校によって異なります。
※協定校によっては、HIV検査や予防接種の記録等、健康状態に関する書類が求められます。
※大学院生で、協定校での研究指導(フィールドワーク、実験等)を希望する場合は、大阪大学の指導教員と話し合ったうえで、協定校における指導者からの了承を事前に得ることが望ましいです。
※留学するためには、パスポートの有効期間が派遣期間+6か月間をカバーしている必要があります。期日にゆとりをもってパスポートを取得してください。

(4)交換留学生としての派遣の決定：概ね留学開始の2か月前まで

協定校での最終的な受入れ審査の結果、交換留学生としての受入れが認められると、受入れ許可書が協定校から送付され、本学からの留学決定通知をもって、正式に交換留学生としての派遣が決定します。

[受入れ許可書の通知方法]

①協定校から国際部国際学生交流課へ文書やメールの送付によってお知らせ

②協定校から学生へ直接文書やメールの送付によってお知らせ

※②の場合は大阪大学でも受入れ許可を確認する必要があるため、報告をお願いしています。許可書が届いたら必ず国際部国際学生交流課へ連絡をしてください。

[大阪大学からの留学決定通知の通知方法]

各所属学部・研究科教務担当係を通じてお知らせ

(5)留学経験者等の紹介

交換留学派遣候補者に対してのみ、留学予定の協定校へ留学した経験がある先輩学生の紹介を行っています。紹介を希望する方は国際部国際学生交流課に問い合わせください。

※交換留学が内定していない学生には、紹介を行っていません。

※複数の学生を紹介することはできません。

※紹介する学生が、現在留学中の場合もあります。

(参考) 大学間交換留学 学内応募書類 不備例一覧

【重要】語学能力要件や成績基準、履修条件などについては、必ず協定校の公式ウェブサイト等で最新の情報を確認してから学内応募してください。

	不備例	不備があった場合
語学・成績要件	自分の成績が、留学を希望する協定校が定める交換留学生の成績基準(GPA等)より低かったが、学内応募した。	協定校が定める成績基準を満たしていなければ、多くの場合学内審査の対象外となります。
	希望する留学先の語学要件には、IELTS 6.0（各セクション5.5以上）とある。自分のIELTSの総合スコアは6.0だが、苦手なスピーキングは5.0だった。	協定校によっては、語学能力のスコアの合計点だけではなく、Speaking やWritingなどセクションごとの条件が課されています。条件を満たしていない場合は学内審査の対象外となります。
	希望する留学先が中国語の公式スコアHSK4級以上を条件としていたが、まだ試験を受けていないので学内応募では「教員による語学能力証明書」を代わりに提出した。	協定校が公式スコアの提出を求めている場合は、学内応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要です。
	希望する留学先の学習言語は主に韓国語だが、英語で行われる講義も受講予定である。学内応募では韓国語の語学能力証明書だけを提出した。	留学先の協定校で2か国語以上を使用する場合は、原則使用する言語の語学能力証明書を全て提出してください(この場合は韓国語と英語)。また、それぞれが協定校が定める基準を満たしている必要があります。
留学先での専攻と履修	希望する留学先は、交換留学生は学部2・3年生の学生を受け入れると記載があった。留学開始時に4年生になるが、応募時点では3年生なので応募した。	協定校が受入れ条件として学年を記載している場合、「留学開始時」を基準とします。条件を満たしていない場合は学内審査の対象外となります。
	希望する留学先のシラバスをチェックしたが、内容は読まずに興味のある授業名を選択して、学内応募書類の「履修計画」を作成した。	交換留学生を受け入れている学部・学科であっても、科目によっては交換留学生が履修できないものがあります。また、pre-requisites（履修条件）を課している科目もあります。履修できない科目のみを記載している場合は、学内審査の対象外となる可能性があります。
	希望する留学先では法学部で学びたいと考えている。阪大では文学部に所属しており、法学系の授業は受けたことがない。	留学先では、大阪大学での専攻と大きく異なる専攻への所属や科目の履修ができないことがあります。留学希望先の受け入れ条件を満たしていない場合、学内審査の対象外となることあります。
	大学間交換留学では語学を主に勉強したいので、語学コースを選択して学内応募した。	大阪大学では、語学を勉強するためだけの大学間交換留学は、原則認めていません。また、協定校によっては語学コースへの所属ができないことがあります。所属できない学部・学科等を学内応募書類に記載している場合、学内審査の対象外となります。
申請書作成	学内応募の申請書が出来上がった後に間違いを見つけたので、手書きで修正した。	取消し線、修正ペン、修正テープを使用した修正は原則不可です。
	どうしても行きたい留学先があったので、応募書類の第一希望から第三希望まで、キャンパス名だけ変えて全て同じ大学名を書いた。	第一希望から第三希望まで同じ協定校を記載した場合、キャンパスが異なっていたとしても第二希望、第三希望は学内審査の対象外となります。必ずしも第一希望の留学先に行けるとは限らないので、第二希望 、第三希望は異なる協定校の記載を推奨します。
	希望する留学先では国際関係学を学びたいと考えているが、どの学部で学べるか知らないので、「学部・学科」のところは適当にGlobal Studiesと書いた。	希望留学先として記載した学部・学科名がその大学に存在しないなど、応募書類の内容に大きな誤りがある場合、学内審査の対象外となることがあります。
その他	大学2年生の時に大学間交換留学に行ってとても良かった。大学4年生の時にも大学間交換留学したいと思い、学内応募した。	既に同じ学位レベルで大学間交換留学をした学生は、大学間交換留学への再応募は不可です。部局間交換留学については、所属学部・研究科の教務担当係へ確認してください。
	大学から支給されたメールアドレスがあるが、普段全く使っていないので、他のメールアドレスで学内応募した。	大学間交換留学応募時には、必ず大学から支給されたメールアドレス(@ecs.osaka-u.ac.jp)を使用してください。大切なメールが届かない場合があるため、携帯やフリーメールのアドレスは不可です。大学間交換留学の案内は、大学のメールアドレスを通して行います。

3. 交換留学決定後の流れ

(1)協定校への留学準備

履修登録や保険加入の案内、寮への申込み(希望者のみ)は、必須の手続きになります。手続きや書類に不備があると受け付けてもらえない可能性もありますので、注意して取り組んでください。

※交換留学決定後の留学準備は、全て皆さんで行っていただきます。

※協定校から案内のメールが届いた時は、国際部国際学生交流課へも転送してください。

※わからないことがあれば、国際部国際学生交流課まで気軽に問い合わせてください。

(2)渡航の準備

①ビザ

交換留学に必要なビザの種類や申請方法を確認し、期限に余裕を持って申請、取得してください。ビザ申請から取得まで、1～2か月程度要する国・地域もあります。申請方法や手続きについては、当該国・地域の在日大使館・総領事館等の公式ウェブサイトで確認してください。

▶**参考：駐日外国公館リスト** https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy

※ビザの取得に必要な書類は各国・地域によって異なります。

※渡航前に予防接種が求められる場合、接種の完了まで数か月かかることがあります。

②渡航時期・飛行機のチケット

飛行機のチケットを取る際は、安全上、**夜間(20時以降)に到着する航空便の利用は控えて**ください。止むを得ず到着が遅くなる際は、到着後の深夜列車、深夜バス等での長距離移動は避け、空港内または近くの安全なホテルに宿泊し、翌日に移動しましょう。

また、現地生活に慣れるための時間は必要ですので、少し余裕を持って出発し、派遣先での留学生向けオリエンテーション開始の数日前には到着することをおすすめします。

※新学期開始時期やオリエンテーションについては、協定校の情報を参考にしてください。

※入寮時期が指定されていることもあるため、確認しましょう。

③留学先の治安状況・保健情報等の収集

治安状況と保険情報等は、以下を参考にしてください。

▶**外務省海外安全ホームページ** https://www.anzen.mofa.go.jp

※たびレジに登録してください。

▶**厚生労働省検疫所(海外渡航者のための感染症情報)** https://www.forth.go.jp

▶**World Health Organization(WHO)** https://www.who.int/csr/en

④危機管理オリエンテーション：詳細は国際部国際学生交流課から案内

本学では危機管理オリエンテーションを例年8月及び2月に開催していますので、**必ず参加してください。**

⑤海外旅行傷害保険

交換留学生に対し、指定の保険への加入を必須とする協定校もありますが、補償範囲や金額等の内容が十分でない場合は、**海外旅行傷害保険**に加入してください。クレジットカード付帯の保険もありますが、補償内容が不十分なことが多いため、別途、留学期間全てをカバーする保険への加入が必須です。

※治療・救援費用が1億円以上の賠償責任付き海外旅行傷害保険に加入してから出発してください。

※海外旅行傷害保険は、**日本を出発する前にしか加入することができません。**

※既往症、歯科関係、妊娠関係は一般的に海外旅行傷害保険の対象外となります。

⑥留学生危機管理サービス(OSSMA):**加入手続きは国際部国際学生交流課から案内**

OSSMAは、留学中の困ったことや相談したいことが発生した際に24時間365日、日本語・英語にて適切なサポートを受けられるサービスです。**交換留学する方は必ず加入**しなければいけません。

[サービス内容]
海外での生活・事故・病気に関する電話相談 / 医療機関の紹介・予約 / 安否確認等
※けがや病気の治療費、事故の加害者となった場合の賠償費用等の保証はありませんので、別途海外旅行傷害保険には必ず加入してください。

⑦海外渡航届システム:**詳細は国際部国際学生交流課から案内**

海外渡航する前に、必ずオンラインシステムから渡航情報の登録を行ってください。海外渡航中の皆さんが無事に過ごしているかどうかを確認するためのシステムです。テロ事件、災害や、感染症の発生など海外で緊急事態が発生した場合に、本システムを通して渡航状況を確認し、安否確認を実施します。

(3)本学での手続き

[留学先での単位の取得について]
手続きは所属学部・研究科毎に異なります。留学先の単位を本学の単位に認定するためには、細かなルールがありますので、指導教員及び所属学部・研究科の教務担当係と事前によく相談してください。

[所属学部・研究科での手続きについて]
所属学部・研究科によっては、「留学願」と言った書類の提出が求められることがあります。詳しくは教務担当係へ確認してください。

[留学後の提出物について]
大学間交換留学へ参加した方には必ず、以下の書類を提出してもらっています。国際部国際学生交流課から随時メールや文書で連絡しますので、漏れの無いように努めてください。
- 大阪大学交換留学(派遣)報告書
- 留学先大学の成績証明書の写し
- 海外留学体験談

(4)健康面について

既往症等海外での生活に不安のある方は、事前に国際部国際学生交流課まで連絡をお願いしています。留学先の適切なサポートのためにも必ず申し出てください。出発前にかかりつけの医師にも相談してください。また、歯の治療は、原則として海外旅行傷害保険の対象外であることが多く、国・地域による治療技術にもばらつきがありますので、出発前に治療を済ませておいてください。
※健康面の事項は大学間交換留学の採否には一切関係ありません。

4. 留学生活

(1)留学生活スタート

◆日本国籍の人は最寄りの日本大使館・領事館に『在留届』を提出
外国に住所または居所を定めて3か月以上滞在する人は、旅券法第16条により、その地域を管轄する日本大使館または総領事館に速やかに在留届を提出することが義務付けられています。

参考 ▶在留届電子届出システム https://www.ezairyu.mofa.go.jp
▶在外日本公館リスト https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list

◆協定校のInternational OfficeやStudent Centerを訪ねて指示を受ける。
一般的には、協定校から現地到着後まず協定校内のどこに行けば良いのか、事前に案内されます。困ったことがあれば、とにかく遠慮せずに積極的に利用してください。

◆留学生を対象としたオリエンテーションへ参加
協定校での手続き(履修登録、学籍登録、図書館やPC関連の登録、保健センターへの登録等)や、日常生活上の手続き(銀行口座開設等)について説明があると思います。

(2)大阪大学への連絡

◆1か月に一度、メールでの定期報告を行う。
日常生活や学習状況を記載し、国際部国際学生交流課へメールで送付してください。また、履修内容の変更を希望する場合は、**必ず国際部国際学生交流課へ事前に相談**しましょう。事後報告ではなく、事前相談してください。皆さんは大阪大学の代表者として交換留学をしていますので、本学でも状況を把握する必要があります。

◆留学先の住所、連絡先等が決まったら「海外渡航届システム」「OSSMA LOCATER」に入力
本学では、留学中に何か起こったときに、交換留学生と迅速に連絡を取って適切な対応をするための体制を取っています。入力を忘れないようにしてください。

◆留学中に留学先国・地域でテロ、政情不安、天災、新型インフルエンザ等の感染症等が発生した場合
緊急時の報告や安全の確保と危機管理については後述の(6)を参考にしてください。また、連絡先はp.22を参照してください。

(3)勉学・研究・日常生活

先輩たちの話を聞くと、多かれ少なかれ、誰しもが似たような悩みを経験しています。
「語学力、特に語彙不足を痛感した」/「他の国・地域の学生の積極性に圧倒された」/「毎週のように出されるリーディング課題が追いつかない」/「授業中のディスカッションで思うように発言できない」/「レポートやプレゼンテーション課題が多い」/「授業についていくだけでも大変、留学しなければよかった」
もしかしたら皆さんも同じように悩むかも知れませんが、思い描いていた留学生活とのギャップに焦る気持ちは抑えて、まずは自分のできることから始めてみましょう。

- **学習方法がわからなければ、先生やクラスメイト、友人に聞いてみる。**
- **ライティングセンターなど、留学生向けのサービスがあれば積極的に活用する。**
- **協定校のカウンセリングサービスを利用する。**
- **日本にいる家族や友人に連絡をとる。**
- **国際部国際学生交流課へ相談する。**

(4)健康管理

留学を開始してから最初の3か月間は、日本での生活とは異なり、食事や、生活のリズム、環境の変化から体調を崩してしまうことがよくあります。体調がすぐれないときは早めに診察を受け、大事に至らないようにしてください。

- **協定校に保健センターがあるときは、利用する。**
- **24時間365日サポート体制の「OSSMAヘルプライン」へ相談する。**

Ⅲ 大阪大学交換留学(大学間派遣)制度を利用する留学

(5)留学継続が困難になったとき

様々な事情で留学を続けるか迷った時は、一人で抱え込まずに**まずは国際部国際学生交流課に連絡**をしてください。国際教育交流センター(go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp)でも構いません。留学中に、予想もしなかったような状況に陥ることもあり得ますので、何かあったら一人で悩まず誰かに助けを求めてください。

皆さんのプライバシーは確実に守られますので、安心して相談してください。

(6)安全の確保と危機管理

外国では、文化や生活習慣が異なるため、日本での安全意識を当然と思わず、常に安全面での緊張感を持つとともに、**「自分の身は自分で守る」**という意識をもって行動してください。万が一に備えて、緊急時連絡先(日本及び海外での連絡先)を控え、常時携行するようにしてください。

大阪大学の連絡先や現地の日本国大使館や総領事館(在外公館)の情報はもちろんのこと、協定校における緊急時対応・連絡システムについて把握し、もしものときに冷静かつ迅速に対応できる備えが必要です。

交通事故や窃盗事件、新型インフルエンザ等の感染症の流行、政治・経済・社会的な危機発生等の非常事態への対応には、日頃からの情報収集とシミュレーションが有効です。危機的状況下においては、まず身の安全を確保すること、次に在外公館や留学先の協定校への連絡、日本の家族や大阪大学への連絡を行ってください(緊急時の連絡先は、p.22を参照)。留学先国・地域の治安状況を把握するために、現地情報だけでなく、在外公館や外務省海外安全サイトなどを常日頃からチェックする習慣をつけましょう。

また、留学中に旅行等で第三国を訪問する際は、現地の在外公館から安全情報を得るために、必ず外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください(日本国籍保持者のみ)。有事の際、「たびレジ」の登録情報に基づき、外務省からの安否確認や救援活動が行われます。

基盤となるのは、「自分の身は自分で守る」という意識です。安全で楽しい留学生活を送るために、緊張感を保ち、緊急時の対応を想定して、非常時に備えることを忘れないでください。

(7)交換留学を終了してから帰国までの流れ

交換留学は、申請時に認められた留学期間が終わったら原則帰国してください。帰国せずに何らかの活動を行う場合は、必ず事前に国際部国際学生交流課まで相談をお願いしています。帰国の準備は、皆さんのペースに合わせて、留学期間が満了する前から計画的に始めてください。あわただしい時期ですが、きちんと整理をして、気持ちよく日本へ帰ってきてください。

[協定校での手続き]

留学先の成績証明書の郵送依頼 / 退寮手続き / 交換留学生としての留学終了時の手続き

[その他の手続き]

荷物を日本に輸送 / 家具を適切に処分 / 電気、ガス、水道、電話、郵便物、銀行口座の停止 / 帰国便の確定 / 日本国大使館・領事館(在外公館)への帰国届の提出 / 国際部国際学生交流課へ最終的な帰国日程の報告

5. 帰国後

留学先で学んだこと、経験したことはもちろん、留学に挑戦し実現させたその意欲と積極性、そして逆境を乗り越えた留学体験そのものが、皆さんの人生における貴重な財産となります。多様な価値観に触れることで、自分の世界・視野を広げ、自分自身を再認識し、自身の将来やキャリアを見つめ直す機会になるはずです。皆さんが留学を通じて学んだことをどのように活かしていくかは皆さん次第です。

多くの価値を秘めた「留学体験」をするために、留学に挑戦してみてください。

Ⅳ 交換留学以外の留学制度・語学研修・インターンシップなど

1. 語学留学(私費留学)

海外での語学留学の場合、交換留学や海外の大学・大学院に入学する場合と異なり、通常単位認定などを受けられません。しかし、以下のような理由で留学を希望する人は、英語圏での語学留学を考えてみてください。

- ■ 就職に有利なので、短期間で英語力をつけたい。
- ■ 海外経験を積んで、将来、留学やインターンを実現したい。
- ■ 正規留学をする前に、大学の付属機関などで英語を勉強したい。

[語学留学先の地域や学校の選び方]

- ■ 大学生協や留学斡旋機関を通じて、希望に合った語学学校や大学付属のエクステンション・スクールなどを紹介してもらう
  ※どの斡旋機関でも、基本的に相談や資料説明は無料で行っています。複数の機関に相談して信頼のおける機関を選ぶようにしてください。
- ■ 自分でインターネットを閲覧して語学学校を選択し、入学する

[語学留学のポイント]

①基本的な目標は何か

自分の勉強したい分野や行きたい大学、環境等、どの点に重点をおくか明確にしておきましょう。英語のスキルアップだけではなく、ビジネスやボランティア活動に興味がある人には、語学研修以外に実地研修が組み合わされているようなコースを探してみることをお勧めします。

②どの国・地域・都市に行きたいのか

まず、国の選定が重要です。将来の目標や自分の興味に照らし合わせて自分が適応しやすい場所を選びます。英語学習の場合は、国によってアクセントなども異なります。また、安全性、ビザ取得の利便性、物価水準、生活環境なども考慮して行き先を決めましょう。

③予算・留学期間は適切か

国や地域ごとに生活費や授業料なども異なります。いくつかの学校を候補にして、行ける期間と予算を試算したうえで、最も適当な学校を選びましょう。

④自分の目標達成のために、有効に時間とお金を使えるかどうか

①から③を踏まえて、可能なかぎり自分に合った研修先を選ぶことが大切です。迷った時は周りの人に相談しましょう。

2. 海外インターンシップ・海外ボランティアについて

海外で働きながら学ぶことは、将来国際的な企業や組織で働こうという皆さんには、貴重な体験になります。 海外インターンシップを運営する、世界最大規模の国際学生NPO・アイセックや理系学生を中心に、海外インターンシップを仲介する国際機関・イアエステ等、様々な海外インターンシップ・海外ボランティアがあります。興味のある方は是非調べてみてください。

3. 留学関連情報リンク

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)「海外留学支援サイト」

海外留学の基礎情報から世界各国の留学情報まで、留学を目指す方のための様々な情報が掲載されています。

▶http://ryugaku.jasso.go.jp

4. 交換留学以外の派遣プログラム

大阪大学では下記のような語学研修・海外研修プログラムが実施されています。他にも、各学部・研究科等で独自に実施されるものもありますので、興味のある方は所属学部・研究科等の掲示板や留学担当係の窓口等で情報を得るようにしてください。プログラムによっては一部の助成を得られる場合があります。詳細はKOANに掲載される各プログラムの募集要項で確認してください。

2020 年 2 月現在

プログラム名称 （科目となっているものはその名称）	研修先国・地域	研修先機関名	研修内容		実施予定期間	対象者 （学部・研究科）	定員	募集時期 （予定）	応募締切 （予定）	問い合わせ連絡先
ヨーク大学 夏季語学研修プログラム （国際交流科目「イギリス異文化体験演習」）	英国 ヨーク	ヨーク大学	長期留学にも役立つ Academic English を中心とした英語研修、イギリス文化学習、英語能力検定試験「IELTS」の現地受験＊単位修得可能		8 月下旬～ 9 月下旬 （5 週間程度）	全学部・研究科	15 名程度	4 月上旬	5 月上旬	国際部国際学生交流課 Tel: 06-6879-4026 E-mail: st-abroad@ml.office.osaka-u.ac.jp URL: http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/ex_students.html
クイーンズランド大学 夏季語学研修プログラム （国際交流科目「オーストラリア異文化体験演習（夏季）」）	オーストラリア クイーンズランド	クイーンズランド大学	異文化理解と長期留学にも役立つ英語運用能力の向上をテーマとした英語研修、ホームステイ＊単位修得可能		8 月下旬～ 9 月下旬 （5 週間程度）	全学部・研究科	15 名程度	4 月中旬	5 月上旬	
モナシュ大学 春季語学研修プログラム （国際交流科目「オーストラリア異文化体験演習」）	オーストラリア メルボルン	モナシュ大学	異文化理解と英語運用能力の向上を主なテーマとした英語研修、オーストラリア文化学習、ホームステイ（国内他大学とのジョイント・プログラム）＊単位修得可能		2 月下旬～ 3 月下旬 （4 週間程度）	全学部・研究科	40 名程度	10 月上旬	11 月中旬	
モナシュ大学 グローバルプロフェッショナルプログラム	オーストラリア メルボルン	モナシュ大学	英語上級者向けのプレゼンテーション、インターンシップも含む研修プログラム、オーストラリア文化学習、ホームステイ＊語学要件あり		8 月上旬～ 8 月下旬 （4 週間程度）	全学部・研究科	5 名程度	4 月上旬	5 月上旬	
エンデランカレッジ 夏季語学研修プログラム （国際交流科目「フィリピン異文化体験演習」）	フィリピン マニラ	エンデランカレッジ	英語運用能力向上を目的としたマンツーマン及びグループレッスンによる英語研修。＊単位修得可能		8 月下旬～ 9 月下旬 （5 週間程度）	全学部・研究科	15 名程度	4 月上旬	5 月上旬	
Campus France 短期語学研修プログラム	フランス	Campus France がパートナーシップを結ぶ大学附属学校	計 80 時間のフランス語研修の他、文化・スポーツアクティビティなどへの参加。宿泊については、ホームスティか学生寮の選択制。		夏季：8 月～ 9 月 春季：2 月～ 3 月 （4 週間程度）	全学部・研究科	特に設けていない	夏季 4 月上旬 春季 10 月中旬	夏季 5 月上旬 春季 11 月中旬	
国連ユースボランティア （国際交流科目 「グローバル・長期インターンシップ」）	開発途上国	国連事務所、 国際 / 現地 NGO、 政府機関等	日本のコンソーシアム 9 大学と国連ボランティア計画との協定に基づき、アジア、アフリカ等の開発途上国を中心とした国連事務所等で広報活動やプロジェクト運営支援などを通じて、教育・公共衛生・環境・ジェンダー・貧困削減などの活動に携わる。＊単位修得可能		9 月下旬～ 2 月 （約 5 か月間）	全学部（派遣時現在 20 歳以上、日本国籍保持者のみ）	9 大学で 14 名程度	2 月	3 月下旬	国際部国際学生交流課 Tel: 06-6879-7102 E-mail: outbound@ciee.osaka-u.ac.jp URL: https://my.osaka-u.ac.jp/admin/student/student/UNYV
大阪大学 ASEAN キャンパス キャリアアドバンス英語プログラム in ブルネイ （グローバルイニシアティブ科目「キャリアアドバンス英語プログラムⅠ，Ⅱ」）	ブルネイ	ブルネイ・ ダルサラーム大学	ブルネイ・ダルサラーム大学において、SDGs とキャリアアドバンスを考えながら、プレゼンテーションスキルを中心とする英語能力の向上を目的としたプログラム ＊単位修得可能		夏季：8 月～ 9 月 春季：2 月～ 3 月 （2 ～ 3 週間程度）	全学部・研究科	20 名程度	夏季 4 月下旬 春季 11 月上旬	夏季 5 月下旬 春季 12 月中旬	国際部国際企画課国際連携係 E-mail:kokusai-renkei-renkei@office.osaka-u.ac.jp 【参加者募集説明会】 夏季：2020 年 4 月～ 5 月 実施予定 春季：2020 年 11 月 実施予定
ケニアインターンシップ （グローバルイニシアティブ科目「海外フィールドスタディ C」）	ケニア	特定非営利活動法人「アフリカ児童教育基金の会」	「アフリカ児童教育基金の会」（ACEF）を受入機関とし、ケニア共和国エンブ市などにある ACEF の病院、学校、孤児院、フィールドオフィスなどでのエスノグラフィックなメソッドを用いたインターンシップを通して、ケニアにおける教育、医療、農林業の実態を実地に学ぶ。　＊単位修得可能		随時 （1 か月～ 6 か月で調整可）	全学部・研究科	5 名程度	4 月上旬	12 月末	国際部国際企画課国際連携係 E-mail:kokusai-renkei-renkei@office.osaka-u.ac.jp
理工系学部学生のための海外英語研修コース （国際交流科目「理工系英語基礎海外演習」）	オーストラリア メルボルン	モナシュ大学	レベルに応じた英語集中トレーニング、理工系学部生向け特別レクチャー、工学系施設へのサイトビジットと関連教育、現地学生との交流、ホームステイ＊単位修得可能		8 月中旬～ 9 月中旬 （5 週間程度）	理工系学部学生	40 名程度	4 月上旬	5 月上旬	大学院工学研究科 / 工学部 教育学務国際室国際交流推進センター TEL: 06-6879-8972 E-mail: contact_cia@fsao.eng.osaka-u.ac.jp URL: http://www.fsao.eng.osaka-u.ac.jp/o_training/
理工系大学院生のための海外研究発表 研修コース （単位認定：工学英語Ⅱ）	米国 カリフォルニア州	カリフォルニア大学デイビス校	英語での研究発表スキル獲得に向けたトレーニング、工学系施設・企業・大学へのサイトビジットと関連教育、現地学生との交流、ホームステイ＊単位修得可能		8 月中旬～ 9 月中旬 （4 週間程度）	理工系大学院生（博士前期・後期課程）	25 名程度	4 月上旬	5 月中旬	
海外フィールドスタディ S	タイ・バンコク	チュラロンコン大学、 マヒドン大学、 カセサート大学、 モンクット王 トンブリ工科大学	タイ学術コンソーシアムの 4 大学において実習を行うことにより、各学生が海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とする。また、準備から事後学習までの学習プロセスを学生が主体的にデザインし実行することを支援するとともに、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院修了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、また他者や他機関と協働するために必要な資質を養うことを目的とし、多角的視点を持って社会を批判的に思考し行動する学生を育成しようとするもの。＊単位修得可能		8 月～ 9 月 （約 5 週間）	理工系大学院生（博士前期・後期課程）	25 名程度	3 月中旬	4 月中旬	生物工学国際交流センター Tel: 06-6879-7455 E-mail: info@icb.osaka-u.ac.jp
体験型科学英語学習による グローバル次世代科学者養成プログラム	オーストラリア シドニー	マッコーリー大学	科学英語を使った研究現場でのコミュニケーションスキルおよびプレゼンテーションスキルの向上を目的とした研修プログラム。マッコーリー大学理学部での研究室見学・講義聴講、現地企業見学、現地学生との交流、ホームステイなども含む。 ＊単位修得可能		8 月～ 9 月 （約 5 週間）	理工系学部学生	15 ～ 25 名程度	4 月中旬	5 月上旬	大学院理学研究科 大学院係 Tel: 06-6850-5289 E-mail: ri-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp
カップリング・インターンシップ （国際交流科目「カップリング・インターンシップ」）	東南アジア 数カ国で実施予定	現地連携大学及び 日系企業	大阪大学と現地連携大学の文系及び工学系学生（全 8 名 / 箇所）が、事前研修（企業文化論、コミュニケーションスキル）、企業実習（インターンシップ）、文化体験、報告会及び事後研修を協働で行う、文理融合型グローバル人材育成プログラム。 ＊単位修得可能		8 月～ 12 月 （実施国により異なる。期間は一カ国 2 週間程度）	工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、経済学研究科、外国語学部、経済学部 （2019年12月現在予定）	合計 20 名～ 24 名程度	4 月上旬	4 月下旬	接合科学研究所 Tel: 06-6879-8695 E-mail: cis-office@jwri.osaka-u.ac.jp

海外留学時等の危機管理対応

1. 渡航前に行う事項

1 留学・研修等に伴う危機管理に対する心構えと準備すべき事項

(1) 危機発生の可能性があることを十分に認識しておく。
(2) 危機発生時のシミュレーションを行う。
(3) 健康状態のチェック(キャンパスライフ健康支援センターなどと相談や健康診断の受診)をする。

2 大阪大学での渡航前の手続きや行うべき事項

(1) 海外渡航届システムにログインし、渡航情報等を登録する。
(2) 危機管理に関する説明会やオリエンテーション等へ参加する。
(3) 渡航期間が３か月未満の場合は、「たびレジ」に登録する。

3 海外留学保険及び海外危機管理サービスへの加入と確認すべき事項など

(1) 留学・研修中の危機に備える保険(例:海外留学保険・学生共済等)に加入する。
(2) 留学・研修中の安否確認や危機に備えるため、大学が契約する危機管理アシスタンス会社の危機管理サービスへの加入と渡航情報の登録を行う。
(3) 航空券を手配した旅行会社や航空会社の危機発生時の補償等を確認する。
(4) 渡航前に加入した保険の内容について大阪大学(部局)に連絡する。

4 国際情勢、渡航先の安全性についての情報収集の必要性

(1) 国際情勢の変化や動向について把握する。
(2) 渡航先の現地安全情報(例:外務省・在外公館のＨＰを活用)を把握する。
(3) 渡航先の感染症の情報の把握(例:厚生労働省検疫所のＨＰ)と必要な予防接種を受ける。
(4) 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておく。

5 留学・研修先大学等の危機管理体制などについての情報収集

(1) 危機管理体制や危機管理に関するオリエンテーションなどの実施状況を調査する。
(2) 留学・研修先等で加入する危機管理に関する保険の種類や内容を把握する。

2. 渡航後に行う事項

1 在外公館への在留届提出と危険情報の把握

(1) 災害やテロ等の緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように旅券法により、３か月以上外国に滞在する日本人は在留届の提出が義務づけられている。また、治安情勢が不安定な国や地域への渡航の場合は、滞在期間が３か月未満でも届け出るようにする。
(2) 在外公館のウェブサイトなどで、定期的に留学先の危険情報について把握する。

2 留学・研修先等での危機管理体制把握と大阪大学への連絡

(1) 留学・研修先等での危機管理に関する情報収集を行い、オリエンテーションなどには必ず参加する。
(2) 留学・研修先等の緊急時の対応体制と連絡システムを把握し、大阪大学(部局)へ報告する。
(3) 渡航後に加入した保険とその内容について大阪大学(部局)に連絡する。

3 自己の危機管理

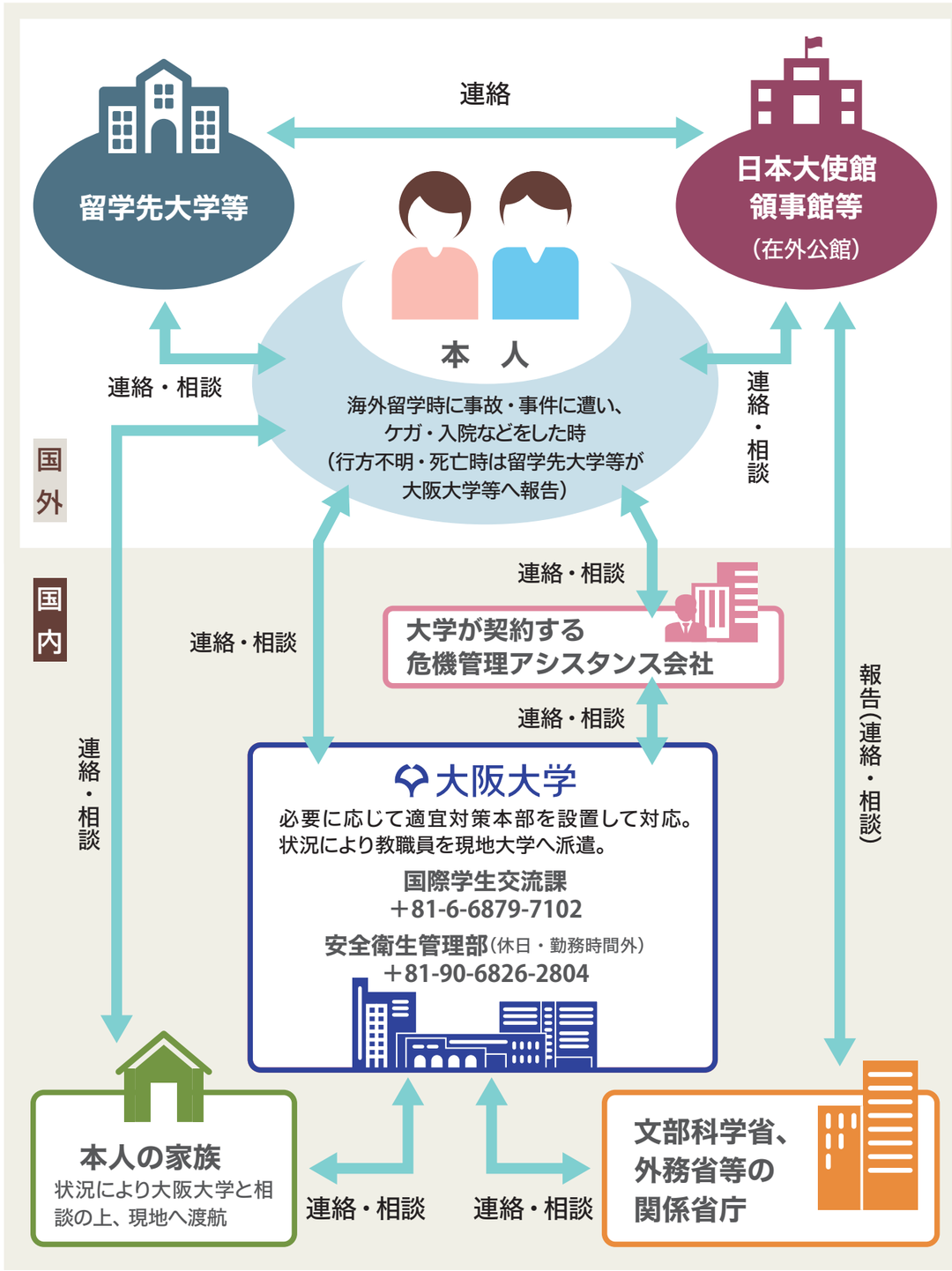
(1) 緊急連絡先(留学・研修先等の電話番号や住所など)を記したメモ等を外出の際には必ず携行する。
(2) 緊急時の家族への連絡体制の確認も行う。
(3) 緊急時の大阪大学への緊急連絡体制を確認・準備する。
・本人若しくは留学・研修先等の関係者などから連絡する体制を確保しておき大阪大学(部局)に連絡する。
・留学・研修先等の関係者に緊急時の大阪大学(部局)への連絡先を知らせておく。
・「海外留学時等の緊急連絡体制」(右記の国外連絡網)を基本に連絡等が行えるようにしておく。
(4) 海外渡航中は自動車等の運転はしない(違反や事故の場合の手続き、賠償責任やコストの問題などあり)。
(5)「自分の身は自分で守る」という意識を持って常に行動する。

3. 危機に遭遇した場合の対応

1 留学・研修先等の緊急連絡先へ連絡し、その指示に従って行動する。
2 緊急連絡体制(右記)に基づき大阪大学(部局)へ連絡・相談する。なお、自ら連絡できない場合などは、留学・研修先や在外公館等の関係者に大阪大学(部局)への連絡を依頼する。
3 在外公館の連絡・指示に従って行動する。
4 家族へ連絡する。
5 大学が契約する危機管理アシスタンス会社及び保険会社にも連絡する。

海外留学時等の緊急連絡体制

留学・研修先などで事件・事故等が発生した場合の連絡網の体制(国外連絡網)



Ⅵ 海外留学 Q&A

留学希望者からの質問に交換留学担当教職員と、交換留学経験者が本音で回答！

このQ&Aは、留学希望者のみなさんから受ける質問の中から、よくあるものをまとめたものです。留学に関するさまざまな質問に、長年交換留学を担当している教職員、経験者ならではの本音で答えています。「留学経験者の生の話をもっといろいろ聞いてみたい!」という方や、「個別に相談してみたい」という方は、お昼休みに各キャンパスで実施している留学相談の機会をぜひ活用してください。

- 国際教育交流センター教員による海外留学に関する個別相談 (予約優先)
- 交換留学を実現した経験者による留学相談 (事前予約不要)

※ 詳細は本学ウェブサイトのイベント情報に掲載しています。

お問合せ先　国際教育交流センター: go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp

(1) 留学時期・期間について

Q1 短期留学の場合、留学するタイミングはいつがいいでしょうか？

短期留学とは主に3か月未満の留学のことを言います。 夏休みや冬休みといった長期休暇中の短期留学の場合は、比較的1-2年生でのタイミングが多いようですが、3年生、4年生になってからでも参加可能です。交換留学も、協定校によっては一学期が約3か月の大学もありますので、短期留学が可能です。(交換留学の期間は一年以内の一学期間又は複数学期の間です。)ただ、学修や成長の観点から、せっかく交換留学を利用するならば、より長期の留学をお勧めします。

Q2 交換留学等、長期留学の場合、留学するタイミングはいつがいいでしょうか？ 就職活動との兼合いが気になります。

交換留学で最も多いのは、2年生で応募し、3年生の秋から1年間留学するパターンですが、この場合、就職活動の時期と重なる可能性も高いです。就職活動、インターンシップ、研究室活動など、学年が上がるにつれ忙しくなるのであれば、2年生時の留学も可能です。ただし、所属学部・研究科によっては留学開始時期に制限があるので、事前に確認してください。また大学間交換留学制度を利用する場合、1年生の1月から3月に出発する留学へ応募できません。就職活動は、大阪大学の就職活動支援システムのページも参考にしてください。
https://cs-web.osaka-u.ac.jp/recruit/
留学中もインターネットで情報を得る、海外での就職説明会に参加する、秋採用への応募の検討等、いろいろな手段を探ってください。大学間交換留学の場合、原則として、学内応募後の派遣期間延長・短縮はできません。応募時までに就職活動や大学院入試の時期等、帰国後を見据えて、自分で最良のスケジュールを選択してください。

Q3 学期途中で帰国した場合、帰国後の授業履修やゼミはどうなりますか。

学期途中からの授業履修は原則できません。各種留学に応募する前に帰国後のことを所属学部・研究科の教務担当係に相談のうえ、無理のないスケジュールを立ててください。

Q4 交換留学をする人は、１年間留年する人が多いと聞きますが、本当ですか？ また、どうしても卒業時期を延ばしたくないのですが、可能ですか？

交換留学をして1年間留年する人は多いです。しかし、卒業時期を延長せずに交換留学へ行くことは可能です。状況は各自で違いますので、将来を見据えて具体的に留学したい大学、留学期間、大阪大学での生活、希望進路を調べてください。自分の中での優先順位を決めたうえで、指導教員や所属学部・研究科の教務担当者としっかり相談しておくことが大切です。

(2) 留学に必要な語学力について

Q5 TOEFL 等、語学能力試験の対策はどうすればいいですか？ どのように勉強すればいいでしょうか？

人によって、語学能力試験対策方法は様々です。勉強方法として、まずは模擬試験問題集等も活用して自分の得意・不得意分野を明確にしてください。実際に語学能力試験を受けるのも一つの手段です。希望する協定校が要求するスコアに応じて今後の目標を定め、勉強の方向性を決めていってください。国際部国際学生交流課ではIELTS/ TOEFL iBT®/ GRE®のテキストの貸出しを行っていますので、希望者は問い合わせてください。

(3) 現地での生活について

Q6 現地での授業はどのような雰囲気ですか？

日本と比べて課題や予習・復習の量が多く、ディスカッションやプレゼンテーション等で自分の意見を表明する場も多いと言われています。特にディスカッションでは活発な意見が飛び交い、留学生に対しては、出身国の視点からの発言を求められる場合もあるようです。

Q7 授業についていけないのではと不安なのですが。

留学開始後の授業中の不安は、担当教員やTA、留学生センターに相談すると良いでしょう。留学前から不安になりすぎることはありません。確かに最初は話が聞き取れない、ディスカッションについていけない等、苦労が多いようですし、授業スタイルの違いや課題の多さに驚く留学経験者もいます。しかしそれぞれ相当な努力を積み重ねて勉強し、結果的に自分自身の成長や語学の向上につながっています。自分のできる範囲で精一杯努力し、主体的な行動を心がけましょう。

Q8 留学中にアルバイトやインターンシップはできますか？

国・地域によって異なります。取得予定のビザでどこまでの活動ができるのか、留学前によく確認しておいてください。なお、通常のビザや滞在許可申請には、留学して現地で生活するのに十分な資金があると証明する必要があります。よって、留学の資金を補うために現地でアルバイトを行うことはできません。勉学に専念できるような資金計画を立ててください。

(4) 留学の費用について

Q9 費用はどれくらいかかるのですか？

一つの目安は、日本での一人暮らしにかかるお金を基準として考えることです。現地での生活費(家賃や食費、その他)、教材費等はイメージしやすいと思います。留学の場合、その他に基本的な必要経費として、ビザ申請にかかる費用、海外旅行傷害保険への加入料、渡航費、引越代金といったものがあげられます。ただし、個々の状況により変動しますし、特に生活費は、現地の物価や寮への入居の有無等の条件に大きく左右されます。また、長期休暇を利用して旅行に行くのであれば、その費用も念頭に置いておきましょう。生活費はJASSO(独立行政法人日本学生支援機構)のウェブサイトの資料も参考にしてください。
http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html

Q10 奨学金はありますか？また、奨学金の併願や併給は可能ですか？

本ガイドブックのp.27-28には、大阪大学へ申請を行う奨学金の情報を掲載しています。実際の募集はKOAN掲示板に掲載しますので、見逃さないように注意してください。個人で申請する奨学金は、ガイドブックに掲載しているもの以外にもありますので、JASSOのウェブサイト等で検索してみてください。
http://ryugaku.jasso.go.jp/
なお、奨学金によっては、併願・併給を認めないものや、併給金額に制限がありますので、各奨学金の要項を確認し、各自の責任で規定を厳守してください。

(5) 留学先について

Q11 留学したいという気持ちはあっても、どの国のどの学校がよいかわかりません。

留学先だけは、自分で決めなければなりません。同じ国でも、複数の学部を持った総合大学と、カレッジのような小規模のアットホームな大学では、留学生の割合や環境も異なります。協定校の公式ウェブサイトなどで調べてみる、先輩の話を聞いてみるなどして、自分に合った留学先を見つけてください。

(5) 留学先について

Q12 交換留学の場合、協定校での専攻は自由に選べるのでしょうか。また、開講されている科目は、現地の学生と同様に履修できるのでしょうか？

交換留学の場合、協定校での専攻は原則、大阪大学での専攻と同じか似た専攻を選ぶことになります。また、開講されている科目も、全てを履修できるわけではありません。派遣先の協定校での学位取得はできず、交換留学生と協定校の正規課程に入学した学生とでは、厳密には立場が異なるため、協定校によっては、交換留学生を受け入れていない学科や専攻があります。Business School、Law School、Medical School 等、専門家育成を目的とする学部や大学院では交換留学の対象外とするところが多いので、注意してください。なお、交換留学生の履修を認めない科目や、prerequisites (履修条件) を定めている科目もあります。また、履修可能な科目でも、希望する講義が不開講になった、抽選に漏れた等、必ずしも当初の予定どおりに履修できるとは限りません。大学間交換留学を利用し、留学先で全く新しい分野を学び始めたい学生は、事前に国際部に相談してください。

Q13 協定校についての情報はどこで得られますか？

各協定校の公式ウェブサイトで最新の情報を得ることができます。交換留学生用のページがある協定校も多いので、”Exchange 大学名”でそれを探してみてください。

Q14 ガイドブックに載っている情報と、協定校の公式ウェブサイトの情報が違うのですが？

協定校の公式ウェブサイトの情報が最新で正しい内容です。本ガイドブックは 2020 年 3 月現在の情報を基に作成しています。それ以後の最新情報は反映されていませんので、必ず交換留学応募時までに、協定校の公式ウェブサイト等で最新の留学の要件等を各自で調べておいてください。

(6) 交換留学制度について

Q15 どのような制度ですか？

本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学（協定校）に、大阪大学に在籍した状態で、最短で 1 学期、最長で 1 年間留学する制度です。ここでいう 1 学期とは、大阪大学の学期ではなく、各協定校の学期のことです。クォーター制の大学は 9 ～ 12 月 /1 ～ 3 月 /3 ～ 6 月、セメスター制の大学は 8 ～ 12 月 /1 ～ 5 月のことが多いですが、国・地域、年度によって異なります。また、交換留学生は協定校で学位を取得することはできません。

Q16 大学間協定と部局間協定の違いについて教えてください。

大学間協定とは、海外の大学等と大阪大学の大学同士で結んでいる協定のことで、部局間協定とは、学部と学部、研究科と研究科など部局間で結んでいる協定のことです。大学間協定校への交換留学は、大阪大学の正規生であれば所属学部・研究科を問わず応募できますが、部局間協定校は協定を結んでいる本学学部 / 研究科等所属の学生しか応募できません。

Q17 交換留学と私費留学とではどのような違いがありますか？

留学先の選択肢、学費の納入先、留学中の大阪大学での身分が異なります。

留学先の選択肢	交換留学では、留学先は協定校に限られますが、私費留学では条件さえ満たせば自身で留学先を自由に選べます。
学費の納入先	交換留学では学費は大阪大学に収め、協定校に学費を納める必要はありません。私費留学では留学先に学費を納めます。休学する場合、大阪大学に学費を納める必要はありません。
留学中の大阪大学での身分	交換留学中は大阪大学を休学することはできず、大阪大学での身分は「留学」となり在学期間に通算されます。私費留学では、留学中に大阪大学を休学できます。休学して留学した場合は、在学期間には通算されませんので、卒業時期を休学期間に応じて延長する必要があります。

Q18 大学院生でも交換留学制度を利用することができますか？

可能です。ただし、学部生のみを対象としている協定校や、大学院レベルの学生が学部レベルへ留学することを認めない協定校もありますので、事前によく調べておいてください。学部生の留学手続きよりも条件が厳しい場合もあります。なお、大学院生の場合、留学先の指導教員は、原則自分で探すようにしてください。協定校によっては、事前の内諾が求められます。

Q19 外国人留学生ですが、交換留学制度を利用することができますか？

可能です。ただし、自国籍の学生は受入れない協定校もありますので、注意が必要です。また、国費外国人留学生等、交換留学制度の利用に制限がある場合がありますので、詳しくは所属学部・研究科に問い合わせてください。

Q20 語学留学などと異なる交換留学ならではの良さは何ですか？

交換留学は、より有意義な留学をしたいと考える人に適した制度です。
■ 語学力を伸ばすと同時に、深い知識を身につけるチャンスが与えられる。 ■ 交換留学では、本学と協定校、双方の大学のサポートが受けられる。
■ 協定校のレベルが高い。 ■ 日本以外の国・地域からの交換留学生との交流の場が多く設けられる。
語学留学は「語学力の向上」を目的とする留学ですが、交換留学は修学可能な語学力を前提に、「言葉を使っての修学」が求められますので、留学先の言語で修学するための努力が肝心です。

(7) 大学間交換留学の学内選考、応募について

Q21 人気の留学先はどこですか？また、学内選考での競争率はどのぐらいですか？

英語圏の中でも、語学要件や成績要件が比較的低い北欧やオーストリア、アメリカの一部の大学が特に人気があります。非英語圏では、ドイツ、フランス、中国がここ数年人気です。募集人数は毎年変化するため、競争率は一概には言えません。過去には、募集人数が少ない協定校に応募が集中して、4～8倍程度の倍率になったことがあります。英語圏への留学を希望する人は、選択肢を増やせるように、語学能力を向上させ、GPA 3.0 以上を目指して早めに準備をしてください。イギリスやカナダ、オーストラリアの大学もおすすめです。

Q22 まずは何から準備をはじめればよいでしょうか？

大学間交換留学の準備の詳細は、本ガイドブックのⅢ章を参考にしてください。時間に余裕をもって内容を練り、不備が無いように心がけてください。

Q23 交換留学にするにあたり、応募資格や成績の基準はあるのでしょうか？

あります。協定校から交換留学生に対し、成績、語学能力、留学開始時期の在籍学年等の要件が設定されている場合は、学内選考の基準もそれに従います。つまり、学内選考へ応募する時点で、希望する協定校の基準を満たしていなければなりません。所属学部等によっては独自のルールで留学を開始できる時期を定めているところもありますので、詳細は各所属学部の教務担当係に問い合わせてください。

Q24 留学先では主に英語を使用する予定です。語学能力について、教えてください。

本学の基準スコアは（TOEFL iBT 79、IELTS 6.0）です。ただし、各協定校の基準がそれよりも高い場合、交換留学への応募の時点で協定校基準のスコアを取得している必要があります。協定校によっては、学部、専攻ごとにスピーキング、ライティング等、各セクションの基準点が設けられています。事前に希望する学部、専攻等が要求するスコアを必ず確認してください。

Q25 留学先では、英語以外の言語での科目の履修を希望していますが、語学能力の証明はどうしたらいいのでしょうか。

協定校が定める言語の公式スコアがある場合、交換留学への応募の時点で協定校基準のスコアを取得している必要があります。協定校が、現地で使用する言語のスコアを定めていない場合は、語学教員の証明書 (推薦書) でも交換留学への応募が可能です。そして、2 つ以上の言語を留学先での勉学・研究に使用する場合は、使用予定の言語全ての語学能力を証明する書類を準備してください。

Q26 第二希望以下の併願校はどのように決めるのですか？

第一希望の協定校を選んだ時と同じ観点から選んでください。内定先が第二希望以下になる可能性は十分ありますので、後悔しないよう、慎重に希望順位を決めてください。特に、英語圏を希望する人は、第一希望の倍率が高いと予想されますので、慎重に検討してください。

Ⅶ 海外留学に関する資料

1. 奨学金制度案内

◆大阪大学の奨学金：給付型

No.	奨学金名称					
	学部	院生	対象	金額	対象期間	備考
1	未来基金グローバル化推進事業「交換留学奨学金（派遣）」					
	○	△	3か月以上1年以内の交換留学を行う学生対象（博士後期課程の学生は対象外）	月額5万円（年間60万円を上限とし、留学開始時に一括振込み）	本学が認めた派遣期間（ただし、予算の都合により、派遣期間の一部のみ支給することがある。）	
2	未来基金グローバル化推進事業「研究留学助成金」					
	×	○	原則3か月から10か月程度まで、4月から翌年3月までに研究留学を開始する学生対象	往復渡航費10・20万円（派遣先による）及び月額6・7・8・10万円（派遣先による）	任意（原則3か月から10か月程度まで、4月から翌年3月までに留学開始）	3か月以上の留学を優先
3	大阪大学未来基金 住友化学グローバルリーダー育成奨学金					
	○	○	本学の正規生で、海外のトップレベル大学または研究機関へ留学する者（将来、日本企業にて活躍する意思を有する者）	留学期間が6か月未満：60/80万円 留学期間が6か月以上：90/120万円	任意（原則3か月以上）	

◆大阪大学からの推薦が必要な奨学金

（1）日本学生支援機構（JASSO）の奨学金：給付型

※募集時期等は一部昨年度のものを参考に掲載しています。

No.	奨学金名称					
	学部	院生	対象	金額	対象期間	備考
1	海外留学支援制度（協定派遣）※大学間/部局間交換留学対象プログラム					
	○	○	日本国籍または日本永住権を保持する本学の正規生で、3か月以上1年以内の交換留学を行う学生	月額6・7・8・10万円（派遣先による） 渡航支援金 16万円（家計基準あり）	本学が認めた派遣期間	
2	海外留学支援制度（大学院学位取得型）					
	○	○	海外の大学等に留学し、修士または博士の学位取得を目指す学生 （留学生不可）	月額8万9千円～14万8千円（派遣先地域による） 授業料（1万米ドル相当までは実費額を支給。1万米ドル相当を超える場合は、採用状況により予算の範囲内で追加支給する場合がある。ただし、250万円を上限とする。） ※2019年度予算の状況により変更となる場合がある	修士の学位を取得するコースは2年、博士の学位を取得するコースは原則3年を限度とする	在学中だけでなく、卒業後の申請も可能
3	官民協働海外留学支援制度～トビタテ！ 留学JAPAN日本代表プログラム～					
	○	○	正規生で28日以上2年以内（3か月以上を推奨）留学を行う学生 （留学生不可）	奨学金月額6/12/16万円（収入、派遣先による） 留学準備金 アジア15万円/その他25万円 授業料30万円/年	28日以上2年以内	

（2）日本学生支援機構（JASSO）の奨学金：貸与型（返還の必要あり）

No.	奨学金名称					
	学部	院生	対象	金額	対象期間	備考
1	第二種奨学金（短期留学） ※有利子貸与型					
	○	○	正規生で、本学在学中に3か月以上海外の大学等へ留学を予定する者 （留学生不可、学部生の場合、単位認定を受けることができる留学が対象）	【貸与月額】 学部生：2～12万円のうち1万円単位で選択 大学院生：5・8・10・13・15万円の選択制 【留学時特別増額貸与奨学金】 10～50万円のうち10万円単位で選択	3か月以上12か月以内で機構が認めた期間（ダブルディグリーの場合は最大24か月以内）	
2	第二種奨学金（海外） ※有利子貸与型					
	○	○	海外の大学等へ学位取得のための留学を予定する者 （留学生不可、休学留学は対象外）	【貸与月額】 大学に進学：2～12万円のうち1万円単位で選択 大学院に進学：5・8・10・13・15万円の選択制 【留学時特別増額貸与奨学金】 10～50万円のうち10万円単位で選択	海外の大学に進学した月から在籍する大学の標準修業年限の終期まで	卒業又は修了後3年以内であれば申請可能
3	第一種奨学金（海外協定派遣対象） ※無利子貸与型					
	○	○	海外留学支援制度（協定派遣）（上記2(1)-1)の採用者（留学期間が3ヶ月以上の者に限る。）で、経済的理由により修学に困難があると認められる者	【貸与月額】 学部生：3万円・4万5千円・5万１千円の選択制 修士課程相当：5万円・8万8千円の選択制 博士課程相当：8万円・12万2千円の選択制 【留学時特別増額貸与奨学金（有利子）】 10・20・30・40・50万円から選択した額を初回振込時に併せて振込	海外留学支援制度（協定派遣）の支給回数と同じ月数	
4	第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象） ※無利子貸与型					
	○	○	海外留学支援制度（大学院学位取得型）（上記2-(1)-2)の採用者で、経済的理由により修学に困難があると認められる者	【貸与月額】 修士課程相当：5万円・8万8千円の選択制 博士課程相当：8万円・12万2千円の選択制 【留学時特別増額貸与奨学金（有利子）】 10・20・30・40・50万円から選択した額を初回振込時に併せて振込	海外留学支援制度（大学院学位取得型）の支給回数と同じ月数	

（3）その他財団等奨学金

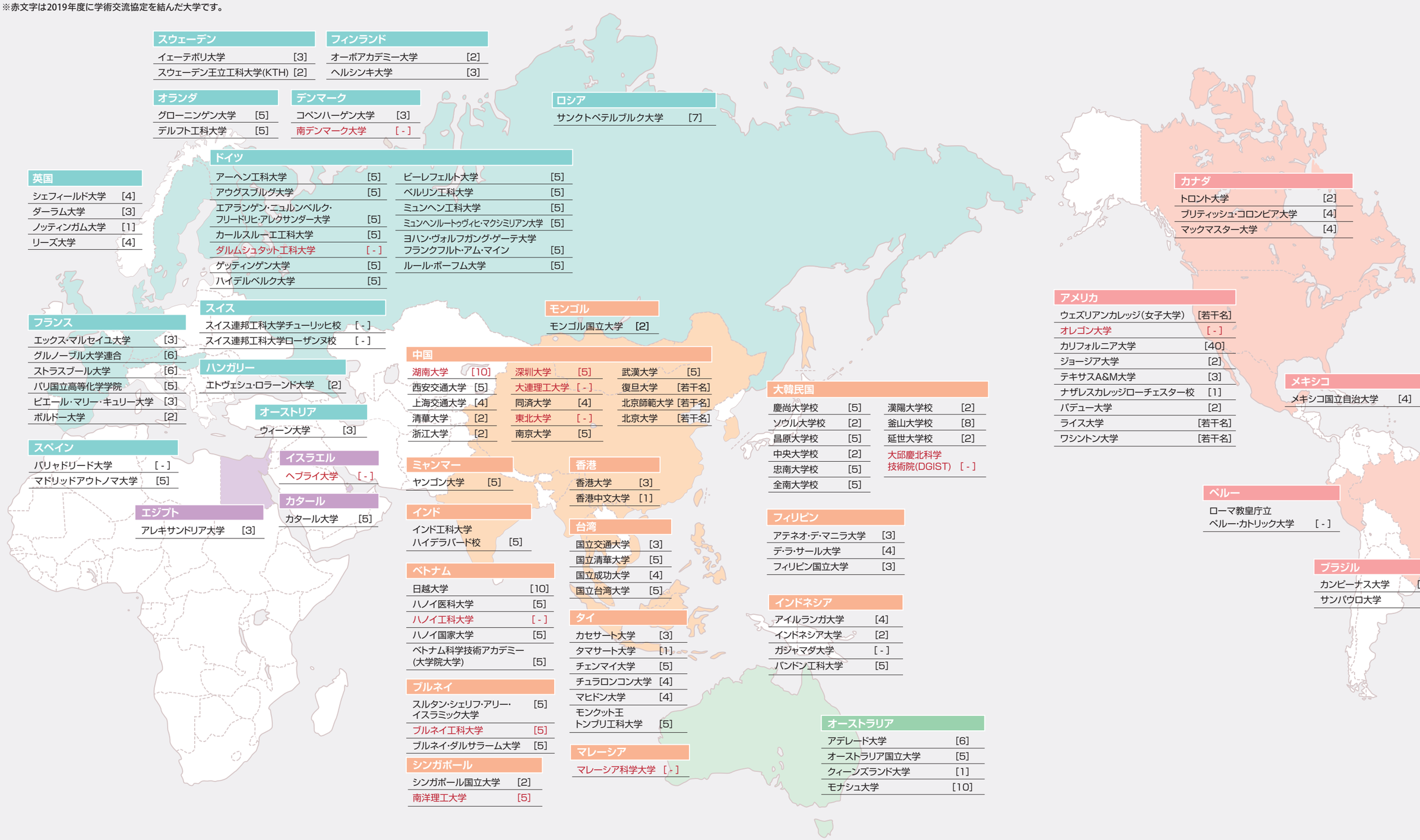
※募集時期等は昨年のものです。今年度の募集は案内があり次第、KOAN 掲示板でお知らせします。

No.	団体名称（奨学金名称）					
	学部	院生	対象	金額	対象期間	備考
1	業務スーパージャパンドリーム財団					
	○	×	日本国籍を有する学部生で、6か月以上または1学期以上の交換留学をする者	月額15万円	本学が認めた留学期間（12か月以内）	給付型奨学金との併給は不可（渡航費は除く）
2	ＴＯＭＯＤＡＣＨＩ住友商事奨学金プログラム					
	○	×	日本国籍又は日本における永住権を保持している学部学生で、アメリカへの交換留学生として、8月または9月から１年間留学をする者	180万円※8月初旬に留学準備金として45万円を支給し、翌月から年5月まで月額15万円を月初に支給	8月または9月から1年間	給付型奨学金との併給は不可
3	日本国際教育支援協会（学研災グローバル人材育成奨学金）					
	○	○	本学に正規生として在籍する日本人学生で、3か月以上12か月以内の留学をする者。（経済・商学・社会科学系の学部で、将来損害保険業界への就職を希望する者を優先）	往復航空費（申請額から調整する場合有）、及び月額10万円	留学先での授業開始月から終了月まで（現地での準備期間等は含まない）	給付型奨学金との併給は不可（学費免除及び一時金は除く）
4	竹中育英会					
	×	○	海外の大学院へ自然科学およびその応用分野を専攻予定で学位取得を目的として留学する学生（原則として修士課程留学者は申請時27歳以下、博士課程留学者は申請時30歳以下に限る）	授業料等大学への納付金として250万円を上限とする実費、及び滞在費・渡航費等に充当するものとして年額200万円を上限とする費用の合計金額を実状に応じて支給	留学先大学の学位取得のための最短修業年限（修士号修得の場合は2年、博士号修得の場合は3年、修士・博士号併せ原則5年以内）	給付型奨学金との併給は不可
5	日本国際教育支援協会（石橋財団奨学金）					
	×	○	美術史を専攻し、海外の大学（修士・博士課程）に正規生として入学予定の日本人学生	月額15万円	前期：2019年4月～2021年3月まで 後期：2019年10月～2021年9月まで ただし大学における在学期間中に限る（最長2年間）	給付型奨学金との併給は不可（学費免除及び一時金は除く）
6	アジア国際交流奨学財団（川口靜記念奨学生）					
	○	○	アジア圏の大学への学位留学、交換留学、認定留学等、正式な受入許可書が発行される留学が対象。申請時年齢30歳以下の日本国籍を有する正規生。	月額4万円（年額48万円）	2019年9月より1年間	給付型奨学金との併給は不可
7	佐藤陽国際奨学財団					
	○	○	日本国籍を有する学生で、ＡＳＥＡＮと南西アジア18か国へ6か月以上1年以内の交換留学をする者	月額8万円（ただしシンガポールは12万円）、渡航費25万円、交換留学一時金10万円、保険料・海外安全危機管理サービス費の実費上限15万円	6か月以上12か月以内	給付型奨学金との併給は不可
8	吉田育英会					
	×	○	日本国籍を有する学士号以上の学位を留学開始までに取得している35歳未満の学生で、人文科学系分野、社会科学系分野または自然科学系分野で留学をする者	月額20万円、学費合計250万円以内の実費、・扶養補助月額２万円（奨学生が配偶者と同居し、かつ配偶者が無収入の場合）、渡航費	奨学金の支給を開始した月から２年以内※ただし、博士号取得を目的に留学する場合、審査のうえ１年以内の延長を認めることがある	
9	ＫＤＤＩ財団					
	×	○	日本国籍を有し、法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において国際的視野に立ち 社会に貢献するテーマの研究を行う35歳以下の学生	月額20万円、別途支度金300～400万円程度（留学期間、留学先、研究内容により異なる）	最長2年（留学期間は1年以上あること）	
10	阪和育英会					
	○	×	日本国籍を有し、留学後本学に戻り学業の継続または学位の取得をする学生	留学準備金15万円、 月額7万円	原則として1年間（6か月以上2年以内、大学付属の機関における語学研修期間も含む）	他財団との併給は可能とする、当財団内での併給は不可とする
11	浦上奨学会					
	○	○	広島県出身者で日本国籍を有し、留学先の履修期間が６か月以上12か月以内の理工系、農学系を専攻している学生	月額10万円	6か月以上12か月以内	給付型奨学金との併給は不可
12	経団連国際教育交流財団（日本人大学院生奨学金）					
	×	○	日本国籍を有し、応募時に大学院に在学し、応募年度末において在学期間が修士・博士通算満５年以内の者で海外の大学、大学院へ留学する学生	350万円/年	留学を開始する年度中の新学期からの留学先大学在学期間中（1年間または2年間）	給付型奨学金との併給は不可
13	経団連国際教育交流財団（産業リーダー人材育成奨学金）					
	○	○	日本国籍を有し、応募時に大学の最終学年、もしくは大学院の博士前期課程に在学し、社会科学系、理工系分野専攻者で海外の大学院へ留学する学生	450万円/年	留学を開始する年度中の新学期からの留学先大学在学期間中（1年間または2年間）	給付型奨学金との併給は不可
14	寺浦さよ子記念奨学会					
	○	○	日本国籍を有し、支給期間中本学に在籍している正規生で、海外の大学または大学院に留学する者	月額10万円、および支度一時金（60万円×留学月数÷12）	概ね半年以上、原則１年以内	
15	日揮・実吉奨学会					
	×	○	日本国籍を有し、自然科学分野を選考する大学院の正規生または学部４年生で本学修士課程への進学が決まっている者で、研究を目的とした留学であること。留学先は米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ、スイス、スウェーデン、オーストラリアに限る。	月額15万円、および往復渡航費一律20万円	1セメスター（4～6か月）以上1年以内	給付型奨学金との併給は不可
16	フクシマグローバル人材支援奨学財団					
	○	×	25歳以下の日本国籍を有する学部生で、諸外国の大学等へ留学する者	月額10万円	6か月または1学期以上12か月未満	給付型奨学金との併給は不可、また他の奨学金受給を理由に辞退不可

2. 大阪大学・学生交流協定校（大学間）一覧

（2020年2月現在）

◎募集人数は大学間交換留学2020年4月から2021年3月派遣(2019年10月募集分)の募集実績です。なお、募集人数は年度により異なります。
最新の協定校一覧については、以下を参照してください(交換留学の対象ではない協定校も含まれます)。
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/action/exchange
※赤文字は2019年度に学術交流協定を結んだ大学です。



スウェーデン
- イェーテボリ大学 [3]
- スウェーデン王立工科大学(KTH) [2]

フィンランド
- オーボアカデミー大学 [2]
- ヘルシンキ大学 [3]

オランダ
- グローニンゲン大学 [5]
- デルフト工科大学 [5]

デンマーク
- コペンハーゲン大学 [3]
- 南デンマーク大学 [-]

ロシア
- サンクトペテルブルク大学 [7]

ドイツ
- アーヘン工科大学 [5]
- アウグスブルグ大学 [5]
- エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学 [5]
- カールスルーエ工科大学 [5]
- ダルムシュタット工科大学 [-]
- ゲッティンゲン大学 [5]
- ハイデルベルク大学 [5]
- ビーレフェルト大学 [5]
- ベルリン工科大学 [5]
- ミュンヘン工科大学 [5]
- ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学 [5]
- ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン [5]
- ルール・ボーフム大学 [5]

英国
- シェフィールド大学 [4]
- ダーラム大学 [3]
- ノッティンガム大学 [1]
- リーズ大学 [4]

スイス
- スイス連邦工科大学チューリッヒ校 [-]
- スイス連邦工科大学ローザンヌ校 [-]

フランス
- エックス・マルセイユ大学 [3]
- グルノーブル大学連合 [6]
- ストラスブール大学 [6]
- パリ国立高等化学学院 [5]
- ピエール・マリー・キュリー大学 [3]
- ボルドー大学 [2]

ハンガリー
- エトヴェシュ・ロラーンド大学 [2]

オーストリア
- ウィーン大学 [3]

スペイン
- バリャドリード大学 [-]
- マドリッドアウトノマ大学 [5]

イスラエル
- ヘブライ大学 [-]

カタール
- カタール大学 [5]

エジプト
- アレキサンドリア大学 [3]

中国
- 湖南大学 [10]
- 西安交通大学 [5]
- 上海交通大学 [4]
- 清華大学 [2]
- 浙江大学 [2]
- 深圳大学 [5]
- 大連理工大学 [-]
- 同済大学 [4]
- 東北大学 [-]
- 南京大学 [5]
- 武漢大学 [5]
- 復旦大学 [若干名]
- 北京師範大学 [若干名]
- 北京大学 [若干名]

ミャンマー
- ヤンゴン大学 [5]

インド
- インド工科大学ハイデラバード校 [5]

ベトナム
- 日越大学 [10]
- ハノイ医科大学 [5]
- ハノイ工科大学 [-]
- ハノイ国家大学 [5]
- ベトナム科学技術アカデミー(大学院大学) [5]

ブルネイ
- スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学 [5]
- ブルネイ工科大学 [5]
- ブルネイ・ダルサラーム大学 [5]

シンガポール
- シンガポール国立大学 [2]
- 南洋理工大学 [5]

香港
- 香港大学 [3]
- 香港中文大学 [1]

台湾
- 国立交通大学 [3]
- 国立清華大学 [5]
- 国立成功大学 [4]
- 国立台湾大学 [5]

タイ
- カセサート大学 [3]
- タマサート大学 [1]
- チェンマイ大学 [5]
- チュラロンコン大学 [4]
- マヒドン大学 [4]
- モンクット王トンブリ工科大学 [5]

マレーシア
- マレーシア科学大学 [-]

モンゴル
- モンゴル国立大学 [2]

大韓民国
- 慶尚大学校 [5]
- ソウル大学校 [2]
- 昌原大学校 [5]
- 中央大学校 [2]
- 忠南大学校 [5]
- 全南大学校 [5]
- 漢陽大学校 [2]
- 釜山大学校 [8]
- 延世大学校 [2]
- 大邱慶北科学技術院(DGIST) [-]

フィリピン
- アテネオ・デ・マニラ大学 [3]
- デ・ラ・サール大学 [4]
- フィリピン国立大学 [3]

インドネシア
- アイルランガ大学 [4]
- インドネシア大学 [2]
- ガジャマダ大学 [-]
- バンドン工科大学 [5]

オーストラリア
- アデレード大学 [6]
- オーストラリア国立大学 [5]
- クィーンズランド大学 [1]
- モナシュ大学 [10]

カナダ
- トロント大学 [2]
- ブリティッシュ・コロンビア大学 [4]
- マックマスター大学 [4]

アメリカ
- ウェズリアンカレッジ(女子大学) [若干名]
- オレゴン大学 [-]
- カリフォルニア大学 [40]
- ジョージア大学 [2]
- テキサスA&M大学 [3]
- ナザレスカレッジローチェスター校 [1]
- パデュー大学 [2]
- ライス大学 [若干名]
- ワシントン大学 [若干名]

メキシコ
- メキシコ国立自治大学 [4]

ペルー
- ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学 [-]

ブラジル
- カンピーナス大学 [若干名]
- サンパウロ大学 [5]

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。

3. 大学間学生交流協定校情報

掲載されていない協定校の情報については、国際部国際学生交流課へ問い合わせてください。　2020 年 3 月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力（協定校のウェブサイトで必ず確認すること）	留学資格要件	その他
エジプト	アレキサンドリア大学 Alexandria University	第1セメスター:9月～1月 第2セメスター:2月～5月	アラビア語		
イスラエル	ヘブライ大学 Hebrew University of Jerusalem	第1セメスター:10月～1月 第2セメスター:3月～6月	英語(及びヘブライ語) TOEFL iBT 80以上/IELTS 6.0以上		
カタール	カタール大学 Qatar University	秋学期:8月～12月 春学期:1月～5月	アラビア語/英語(学部レベル　TOEFL iBT61以上/IELTS5.5以上)	GPA2.0-2.3	学部・専攻によって必要なGPAが異なるため要確認
インド	インド工科大学ハイデラバード校 Indian Institute of Technology, Hyderabad	第1セメスター:7月～11月 第2セメスター:1月～5月	英語		
インドネシア	アイルランガ大学 Universitas Airlangga	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:2月～5月	英語 TOEFL iBT 70以上 / IELTS 5.0以上(各セクション5.0以上)	学部2年以上	
	インドネシア大学 Universitas Indonesia	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:2月～6月	英語(及びインドネシア語) TOEFL iBT 80以上 / IELTS 6.5以上	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	
	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	第1セメスター:8月～1月 第2セメスター:2月～6月	英語(及びインドネシア語) TOEFL iBT 70以上 / IELTS 5.5以上	学部2年あるいは3年 GPA3.0 / 4.0以上	*Doctoral Courseへの留学不可 *60単位以上の取得が必要
	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～6月	英語(及びインドネシア語)		
シンガポール	シンガポール国立大学 National University of Singapore	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語 TOEFL iBT 100以上 / IELTS 6.5以上	学部2年以上 成績平均"B"以上	*学部4年以上は要相談 *学部・専攻によって留学不可及び履修制限があるため要確認
	南洋理工大学 Nanyang Technological University	秋学期:8月～12月 春学期:1月～5月	英語 TOEFL iBT 90以上 / IELTS 6.0以上	学部2年以上 成績平均"B"以上	*3か月以上の研究留学可能
タイ	カセサート大学 Kasetsart University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語(TOEFL PBT500 以上 / IELTS 5.5以上)及びタイ語	GPA2.0/4.0以上	*申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要 *セメスター毎に9単位以上の取得が必要
	タマサート大学 Thammasat University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語(TOEFL iBT60-80 / IELTS 5.5-6.5)及びタイ語 *協定校への申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要	学部2年以上 GPA2.5-3.0 / 4.0以上	*留学時の学年相当以上のレベルの履修不可 *セメスター毎に9単位以上の取得が必要 *学部・専攻によって必要な英語スコア及びGPAが異なるため要確認
	チェンマイ大学 Chiang Mai University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語 (TOEFL iBT 61以上 / IELTS 5.0以上)及びタイ語	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要
	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	タイ語又は英語 (TOEFL iBT 79以上 / IELTS 6.0以上)	学部2年以上 GPA2.75 / 4.00以上	*申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要
	マヒドン大学 Mahidol University	International College 第1学期:9月～12月 第2学期:1月～4月 第3学期:4月～7月 International College 以外 第1学期:8月～12月 第2学期:1月～5月	英語(TOEFL iBT79以上 / IELTS 6.0以上) (及びタイ語)	GPA2.75 / 4.0以上	*申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要
	モンクット王トンブリ工科大学 King Mongkut's University of Technology, Thonburi	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語 TOEFL ITP500 / IELTS5.0	学部2年以上	*申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語 学部:TOEFL iBT 79 / IELTS 6.0 大学院:TOEFL iBT 90 / IELTS 6.5		*学部生の大学院レベルの履修不可 *大学院生の学部レベルの履修は可
	デ・ラ・サール大学 De La Salle University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～4月 第3セメスター:5月～8月	英語 TOEFL iBT 79以上 / IELTS 6.0以上 *協定校への申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要	CGPA3.0 / 4.0以上	*申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要
	フィリピン国立大学 University of the Philippines	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語(及びフィリピノ語) TOEFL iBT 61以上/IELTS 6.0以上	GPA3.0 / 4.0以上	*セメスター毎に15-18単位以上の取得が必要 *以下の専攻への留学は不可 College of Law, College of Medicine, College of Nursing, College of Dentistry
ブルネイ	ブルネイ工科大学 Universiti Teknologi Brunei	第1セメスター:7月～11月 第2セメスター:1月～5月	英語		
	ブルネイ・ダルサラーム大学 Universiti Brunei Darussalam	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語(及びマレー語) TOEFL iBT 79以上 / IELTS 6.0以上 *TOEFL ITP不可	学部2年以上 CGPA2.5 / 4.0以上	*セメスター毎に16-20単位の取得が必要
	スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学 Sultan Sharif Ali Islamic University	第1セメスター:8月～12月 第2セメスター:1月～5月	英語又はアラビア語	学部2年以上	

英語以外の言語で留学する人も、履修科目によっては英語の公式スコアを求められる場合があります。

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。

2020 年 3 月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力（協定校のウェブサイトで必ず確認すること）	留学資格要件	その他
ベトナム	日越大学 Vietnam Japan University	第1セメスター:9月～1月 第2セメスター:2月～6月	英語 (TOEFL iBT 61以上 / IELTS 5.5以上)及びベトナム語(Level 4/6: Vietnamese Language Framework for Foreigners)	GPA2.8 / 4.0以上	*セメスター毎に6単位以上の取得が必要 *大学院生の留学可
	ハノイ医科大学 Hanoi Medical University				*医学系分野のみ
	ハノイ国家大学 Vietnam National University, Hanoi	第1セメスター:9月～1月 第2セメスター:2月～6月 (1年間の留学の場合は留学開始は第1セメスターから)	英語 (TOEFL iBT 61以上 / IELTS 5.5以上)又はベトナム語 *協定校への申請時に2年以内の英語の語学能力証明書が必要	学部2年以上 GPA2.5 / 4.0以上	
ミャンマー	ヤンゴン大学 University of Yangon	第1セメスター:12月～3月 第2セメスター:6月～9月			
モンゴル	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	春学期:2月～6月 秋学期:9月～12月	モンゴル語		
韓国	釜山大学校 Pusan National University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	英語又は韓国語	学部2年以上	*学部生はセメスター毎に12-21単位の取得が必要 *大学院生はセメスター毎に3-12単位の取得が必要(学部レベルの履修も可) *Korean Language Courses受講可(Language Courseのみの留学不可) *大学院生は1セメスター終了していること *以下の専攻への留学は不可 Dentistry, Medicine, Korean Medicine, Nursing, Law
	全南大学校 Chonnam National University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	韓国語又は英語		*セメスター毎に6単位以上の取得が必要 *学部生のみKorean Language Course受講可(Language Courseのみの留学不可)
	延世大学校 Yonsei University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	英語(TOEFL iBT 79-86以上/ IELTS 6.5以上)又は 韓国語(KLAT level 4 以上) *交換留学応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要	学部2年以上 GPA2.5-3.0 / 4.0以上	*セメスター毎に9単位以上の取得が必要 *大学院生は1セメスター終了していること *主な使用言語は英語 *学部・専攻によって語学能力要件とGPA要件が異なるため要確認 *以下の専攻への留学は不可 Medicine/Dentistry/Nursing/Pharmacy/Music/MBA/Law
	ソウル大学校 Seoul National University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	韓国語(TOPIK Level 5以上)又は英語(TOEFL iBT 88以上 / IELTS 6.0以上) *交換留学応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要	学部2年以上 学部生GPA2.5/4.0以上 大学院生GPA3.0/4.0以上	*学部・専攻によって履修制限があるため要確認
	慶尚大学校 Gyeongsang National University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	韓国語(及び英語)		*セメスター毎に10単位以上の取得が必要
	忠南大学校 Chungnam National University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	韓国語(TOPIK Level 3.0以上)又は英語 *交換留学応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要		
	漢陽大学校 Hanyang University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	韓国語(TOPIK Level 3以上)又は英語(TOEFL iBT 72以上 / IELTS 5.5以上) *交換留学応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要	CGPA2.4 / 4.0以上	*以下の専攻への留学は不可 College of Medicine, School of Nursing, College of Pharmacy, MBA *学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *申請時までに1セメスター終了していること
	中央大学校 Chung-Ang University	秋学期:9月～12月 春学期:3月～6月	学部: 韓国語(TOPIK Level 4以上)又は英語(TOEFL iBT 71以上) 大学院:英語 TOEFL iBT 80以上 / IELTS 5.5以上	GPA1.5 / 4.0以上	*以下の専攻への留学は不可 School of Medicine, School of Pharmacy, School of Nursing, School of Law *大学院生は以下の専攻のみ留学可 Graduate School of International Studies, MBA
	昌原大学校 Changwon National University	春学期:3月～6月 秋学期:9月～12月	韓国語(TOPIK Level 3以上)		
台湾	国立交通大学 National Chiao Tung University	秋学期:9月～1月 春学期:2月～6月	英語(又は中国語)		*学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *学部・専攻によって必要な語学要件、GPAが異なるため要確

英語以外の言語で留学する人も、履修科目によっては英語の公式スコアを求められる場合があります。

Ⅶ 海外留学に関する資料

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。
2020年3月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力（協定校のウェブサイトで必ず確認すること）	留学資格要件	その他
台湾	国立清華大学 National Tsing Hua University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	英語(又は中国語)	台湾・中国国籍の学生は 受入不可	
	国立成功大学 National Cheng Kung University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	英語又は中国語		*学部・専攻によっては語学能力要件が異なるため要確認
	国立台湾大学 National Taiwan University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	英語又は中国語(B1 Level以上)	台湾国籍の学生は受入不可 (二重国籍の学生は可)	*学部・専攻によっては語学能力要件が異なるため要確認 *セメスター毎に4単位以上の取得が必要 *以下の専攻への留学は不可 Department of Medicine
中国	上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	中国語(HSK 5以上)又は英語(TOEFL iBT 90以上 / IELTS 6.0以上) *交換留学応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上 ※中国籍の学生は受け入れ不可	*原則、本学の専攻と異なる専攻への留学は不可
	深圳大学 Shenzhen University	秋学期：9月～1月 春学期：3月～7月	中国語(HSK 5以上)		*以下の専攻への留学不可 P.E.cources, yoga, piano *交換留学期間中に8-28単位取得すること
	西安交通大学 Xi'an Jiaotong University	秋学期：9月～2月 春学期：2月～6月	中国語		
	武漢大学 Wuhan University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月	英語(IELTS 6.5以上)又は中国語(HSK 5以上) *Chinese Lnguage Courseの履修を希望する場合は、交換留学応募時に英語の語学能力証明書の提出が必要		
	北京大学 Peking University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	中国語(HSK Level 6以上<全セクション70点以上>)(又は英語)	GPA 3.2 / 4.0以上	*大学院生の留学は推奨されない *Chinese language training coursesのみの留学は不可 *学部・専攻によって履修制限があるため要確認
	復旦大学 Fudan University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	中国語(HSK Level 6〈220点〉以上 又は英語(TOEFL iBT 80以上 / IELTS 6.0〈全セクション6.0以上〉)	学部生GPA3.0/4.0以上	*Chinese Language Programのみの留学は不可 *以下の専攻への留学不可 MBA, LLM, medical courses, special programs in faculties
	浙江大学 Zhejiang University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月	中国語(HSK Level 4<190-210点>以上) 又は英語	中国国籍の学生は受入不可	*学部・専攻によって語学能力が異なるため要確認 *Intensive chinese language and culture programのみの留学は不可
	南京大学 Nanjing University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	中国語(HSK 5以上)又は英語(TOEFL iBT 70以上 / IELTS 6.0以上)	中国国籍の学生は受入不可	*Chinese Intensive Coursesのみの留学は不可 *学部・専攻によって取得単位制限があるため要確認
	清華大学 Tsinghua University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	中国語又は英語 *交換留学応募時に公式の語学能力証明書の提出が必要	学部2年以上 中国国籍の学生は受入不可	
	北京師範大学 Beijing Normal University	春学期：2月～7月 秋学期：9月～1月	中国語(新HSK Level 5<180点>以上)又は英語(TOEFL iBT 80以上 / IELTS 6.0以上)	GPA80点/100以上	*Chinese Language Coursesのみの留学は不可 *セメスター毎に3-5コースの履修が必要
	同済大学 Tongji University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月	中国語(HSK Level 4以上)又は英語(TOEFL iBT 79 / IELTS 6.5)		*Chinese Improvement Coursesのみの留学は不可 *英語のみを使用するコース有り
香港	香港大学 The University of Hong Kong	秋学期：9月～12月 春学期：1月～5月 (1年間留学の場合は秋学期から留学開始)	英語(TOEFL iBT80/ IELTS 6.5) ※Faculty of Lawを希望する場合： 英語(TOEFL iBT 97 / IELTS 7.0〈各セクション 6.5以上〉)	学部2年以上	*学部・選考によってGPA要件があるため要確認(cGPA3.0-3.33/4.0以上等) *以下の専攻への留学不可 Faculty of Dentistry, Li Ka Shing faculty of Medicine, BSc(Exercise and Health)Programme, Most final year projedt courses provided by all faculties
	香港中文大学 The Chinese University of Hong Kong	秋学期：9月～12月 春学期：1月～5月	英語(TOEFL iBT 71以上 / IELTS 6.0以上) (及び中国語)	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上 一部の国籍の学生は受入不可	*Chinese Language Centreのみの留学は不可
英国	シェフィールド大学 The University of Sheffield	秋学期：9月～2月 春学期：2月～6月	英語(TOEFL iBT 80<R18,W / L17,S20以上>/IELTS for UKVI 6.0<全セクション5.5以上>) *UKVI以外のIELTSは不可 *TOEFLのMy Best スコアは不可	学部学生のみ GPA3.0 / 4.0以上	*学部・専攻によって必要な英語スコアが異なるため要確認
	ダーラム大学 Durham University	第1セメスター：10月～12月 第2セメスター：1月～3月 第3セメスター：4月～6月 (1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始。1年間の留学を推奨。第3セメスターのみの留学開始不可)	英語 TOEFL iBT 92〈各セクション23以上〉/ IELTS 6.5〈各セクション6.0以上〉	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*大阪大学では本募集のみで募集を行う。
	ノッティンガム大学 The University of Nottingham	秋学期：9月～1月 春学期：1月～6月	英語(IELTS for UKVI 6.0〈各セクション5.5〉-6.5〈各セクション6.0〉 ※UKVI以外のIELTS、TOEFL iBT は不可	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*学部・専攻によって必要な英語スコアや履修制限が異なるため要確認

英語以外の言語で留学する人も、履修科目によっては英語の公式スコアを求められる場合があります。

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。
2020年3月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力（協定校のウェブサイトで必ず確認すること）	留学資格要件	その他
英国	リーズ大学 University of Leeds	秋学期：9月～1月 春学期：1月～6月	英語(TOEFL iBT 87〈Listening＆Reading 20, Writing 21, Speaking 22)-92〈Listening＆Reading 21, Writing 22, Speaking 23〉/ IELTS 6.0〈各セクション5.5〉-6.5〈各セクション6.0〉	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*セメスター毎に60単位以上の取得が必要 *学部・専攻によって必要な英語スコアが異なるため要確認
オーストリア	ウィーン大学 Universität Wien	冬学期：10～1月 夏学期：3月～6月	ドイツ語又は英語		*以下のコースは英語の語学能力証明書の提出が必要 Translation / English studies / Business / Economics / Statistics
オランダ	グローニンゲン大学 University of Groningen	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月 (1年間留学の場合は秋学期から留学開始)	英語 TOEFL iBT 92〈各セクション20以上〉/ IELTS 6.5〈各セクション6.0以上〉		
	デルフト工科大学 Delft University of Technology	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月	学部：オランダ語又は英語(TOEFL iBT 90 / IELTS 6.5) *学部・専攻によって使用言語は異なる 大学院：英語 TOEFL iBT 90 / IELTS 6.5		*専攻によって"requirements & restrictions"が異なるため要確認 *セメスター毎に24単位以上の取得が必要
スウェーデン	イェーテボリ大学 University of Gothenburg	秋学期：9月～1月 春学期：1月～6月 (1年間留学の場合は秋学期に留学開始)	英語		
	スウェーデン王立工科大学 Kungliga Tekniska högskolan	秋学期：8月～1月 春学期：1月～6月	学部：スウェーデン語又は英語 大学院：英語又はスウェーデン語 英語はB2レベル以上推奨		*セメスター毎に30単位以上の取得が必要
スペイン	バリャドリード大学 Universidad de Valladolid	第1セメスター：9月～1月 第2セメスター：2月～6月 (1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始)	スペイン語 (B1レベル)又は英語(B1レベル)		*以下のコースは英語の語学能力証明書の提出が必要International Semester Programmes/Industrial Engineering/Commerce/Agricultural Sciences/Education
	マドリード自治大学 Universidad Autónoma de Madrid	第1セメスター：9月～1月 第2セメスター：1月～5月 (1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始)	学部：スペイン語(B1-B2レベル)又は英語(B1-B2レベル) 大学院：スペイン語(B2レベル)又は英語(B2レベル)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認
デンマーク	コペンハーゲン大学 The University of Copenhagen	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月	英語(TOEFL iBT 80-83 / IELTS 6.0-6.5)又はデンマーク語	学部3年以上	*学部・専攻によって必要な英語スコアが異なるため要確認 *セメスター毎に22.5-42.5 ETCSの取得が必要
ドイツ	アーヘン工科大学 RWTH Aachen University	冬学期：10月～3月 夏学期：4月～9月 (1年間留学の場合、冬学期に留学開始)	ドイツ語(B1レベル)又は英語(B1レベル)	学部3年以上	
	アウクスブルク大学 Universität Augsburg	冬学期：10月～3月 夏学期：4月～9月	ドイツ語(B2レベル)又は英語(B2レベル)及びドイツ語の基礎知識		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認
	エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学 Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月 (1年間留学の場合、冬学期から留学開始)	ドイツ語又は英語	学部2年あるいは3年	*セメスター毎に20-30ETCSの取得が必要
	カールスルーエ工科大学 Karlsruher Institut für Technologie	第1セメスター：10月～2月 第2セメスター：4月～7月 (1年間留学の場合、第1セメスターから留学開始)	ドイツ語(A2-B1レベル以上)又は英語		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認
	ゲッティンゲン大学 Georg-August-Universität Göttingen	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語(B2レベル)又は英語(TOEFL 79-93 / IELTS 6.5以上)及びドイツ語(B2レベル)		
	ハイデルベルク大学 Universität Heidelberg	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語		*原則、本学の専攻と異なる専攻への留学は不可 *以下の専攻への留学不可 Faculty of Medicine, Faculty of Dentistry
	ビーレフェルト大学 Universität Bielefeld	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語(B1-C1レベル以上)又は英語(B2レベル以上)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認 *ドイツ語(C1レベル以下)は学期前にLanguage courseの取得が必要
	ベルリン工科大学 Technische Universität Berlin	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語(B2レベル)又は英語(B2レベル：TOEFL iBT 87-109 / IELTS 5.0-6.5)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認
	ミュンヘン工科大学 Technische Universität München	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月 (1年間留学の場合、冬学期から留学開始)	ドイツ語(B1-B2レベル)又は英語(B1-B2レベル)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認
	ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学 Ludwig-Maximilians-Universität München	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語(B2レベル)又は英語(B2-C1レベル)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認
	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン Johann Wolfgang Goethe-Universität, Frankfurt am Main	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語(B1レベル)又は英語		
	ルール・ボーフム大学 Ruhr-Universität Bochum	冬学期：10月～2月 夏学期：4月～7月	ドイツ語(B1-B2レベル)又は英語		
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学 Eötvös Loránd University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～7月	ハンガリー語又は英語		

英語以外の言語で留学する人も、履修科目によっては英語の公式スコアを求められる場合があります。

Ⅶ 海外留学に関する資料

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。
2020 年 3 月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力（協定校のウェブサイトで必ず確認すること）	留学資格要件	その他
フィンランド	オーボアカデミー大学 Åbo Akademi University	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月 （1年間留学の場合は秋学期から留学開始）	英語(TOEFL iBT 78 / IELTS 6.0)及びスウェーデン語		*英語のみを使用するコース有り *専攻によっては大学院生の研究留学可能
	ヘルシンキ大学 University of Helsinki	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	英語(TOEFL iBT 79 / IELTS 6.0)又はフィンランド語(YKI 4以上)又はスウェーデン語(B2レベル)		*英語のみを使用するコース有り *以下の専攻への留学は不可 business and engineering *原則、本学の専攻と異なる専攻への留学は不可 *セメスター毎に20ECTS(単位)以上の取得が必要
フランス	エックス・マルセイユ大学 Université d'Aix-Marseille	第1セメスター：9月～1月 第2セメスター：1月～5月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	フランス語(B2レベル)又は英語		*申請時に公式のフランス語の語学能力証明書が必要
	グルノーブル大学連合 *グルノーブル・アルプ大学 *グルノーブル理工科大学 *サヴォワ大学 *グルノーブル政治学院 *グルノーブル国立建築大学 Communauté Université Grenoble Alpes	第1セメスター：9月～12月 第2セメスター：1月～5月 （1セメスター又は2セメスターの留学が可能。1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	フランス語(B2レベル)又は英語(B2レベル)		*フランス語で履修する場合、申請時に公式のフランス語の語学能力証明書が必要*研究指導の形態による留学も可能*セメスター毎に30ECTS(単位)の取得が必要
	ストラスブール大学 University of Strasbourg	第1セメスター：9月～1月 第2セメスター：1月～6月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	フランス語(B2-C1レベル<B1レベル必須>)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認 *申請時に公式のフランス語の語学能力証明書が必要 *セメスター毎に30ECTS(単位)の取得が必要 ＊以下の専攻への留学不可 Faculty of Languages: Department of Teaching French as Foreign Language, Department of Translation & Interpretation and International Relations International Institute for French Studies, Center forinternational intellectual property studies
	ピエール・マリー・キュリー大学 (ソルボンヌ大学へ改名予定) Pierre & Marie Curie University (Sorbonne Université)	第1セメスター：9月～1月 第2セメスター：2月～6月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	フランス語(B2レベル)		
	ボルドー大学 University of Bordeaux	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	フランス語(B1レベル<B2レベル推奨>)又は英語(B1レベル<B2レベル推奨>)		*学部・専攻によって必要な語学能力が異なるため要確認 *申請時に公式のフランス語の語学能力証明書が必要 *セメスター毎に30ECTS(単位)の取得が必要
ロシア	サンクトペテルブルク大学 Saint Petersburg State University	秋学期：9月～1月 春学期：2月～6月 （1年間留学の場合は秋学期に留学開始）	ロシア語(B2レベル) 又は英語(B2レベル)		*full-time Russian language programmeは語学能力不要
アメリカ合衆国	ウェズリアンカレッジ Wesleyan College	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月	英語(TOEFL iBT 80 / IELTS 6.0〈各セクション5.5〉)	女子学生のみ	※大学院への留学を希望する場合は、語学能力及び成績要件要確認
	カリフォルニア大学 University of California	【UCB/UCM】 秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月 【それ以外】 秋学期：9月～12月 冬学期：1月～3月 春学期：3月～6月	英語 学部UCLA / UCSD:TOEFL iBT 83 / IELTS 7.0 それ以外：TOEFL iBT80 / IELTS 6.5 ※大学院は専攻によって異なるため要確認	GPA3.0 / 4.0以上	*大阪大学では本募集のみで募集を行う。 *大学院への留学を希望する場合、GREスコアの提出が必要 *大学院生は学部レベルへの留学不可 *申請前にUCEAPのウェブサイトで要件等を確認しておくこと
	ジョージア大学 The University of Georgia	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月	英語 学部：TOEFL iBT 80 / IELTS 6.5		*以下の専攻への留学は不可 Law, Pharmacy, Veterinary Medicine *以下のコースは履修制限有り Terry, Grady colleges, SPIA *学部・専攻によってセメスター毎に既定の単位の取得が必要なため、要確認
	テキサスA＆M大学 Texas A&M University	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月	英語 TOEFL iBT 80 / IELTS 6.0		*以下の専攻への留学は不可 Health Science Center, Industrial and Systems Engineering, School of Law *以下のコースは履修制限有り All Business courses, All Engineering courses *学部・専攻によってセメスター毎に既定の単位の取得が必要なため、要確認
	ナザレスカレッジローチェスター校 Nazareth College of Rochester	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月	英語 TOEFL iBT 79 / IELTS 6.5		
	パデュー大学 Purdue University	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月	英語 （TOEFL iBT 80〈各セクション20以上〉/ IELTS 6.5〈各セクション 6.0以上〉）	GPA3.0 / 4.0以上	*科目によって履修条件が異なるため要確認 *セメスター毎に12credits以上の取得が必要

英語以外の言語で留学する人も、履修科目によっては英語の公式スコアを求められる場合があります。

情報は常に更新されます。
最新の情報は必ず協定校のウェブサイトで確認してください。
2020 年 3 月現在

国/地域名	大学名	学年暦	要求される語学能力（協定校のウェブサイトで必ず確認すること）	留学資格要件	その他
アメリカ合衆国	ライス大学 Rice University	秋学期：8月～12月 春学期：1月～5月 （1年間留学の場合は秋学期に留学開始）	英語 TOEFL iBT 100 / IELTS 7.0	学部生のみ GPA3.0/4.0以上	*専攻によって履修条件が異なるため要確認 *以下の専攻への留学は不可 Jesse H. Jones Graduate School of Management, Shepherd School of Music, School of Architecture *セメスター毎に12credits以上の取得が必要
	ワシントン大学 University of Washington	秋学期：9月～12月 冬学期：1月～3月 春学期：3月～6月	英語 学部：TOEFL iBT 83/ IELTS7.0 大学院：TOEFL iBT 92/IELTS7.0	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*大阪大学では本募集のみで募集を行う *以下の専攻への留学は不可 Foster School of Business, Information School, School, School of Medicine, School of Nursing, School of Pharmacy *以下の分野の履修は不可 Business, Communications, Economics, Psychology, Law, Societies & Justice, Math *大学院へ留学する場合、専攻によっては語学能力やGPAにおいて、より高い条件が設定されている
カナダ	トロント大学 University of Toronto	秋学期：9月～12月 冬学期：1月～4月 （1年間留学の場合は秋学期に留学開始）	英語 学部：TOEFL iBT 89-100〈W 22-25以上〉/ IELTS 6.5-7.0〈各セクション6.0-6.5以上〉） 大学院：TOEFL iBT 93〈W / S 22以上〉/ IELTS 7.0〈各セクション 6.5以上〉	学部2年以上 cGPA2.25 / 4.00以上	*大阪大学では本募集のみで募集を行う *専攻によって必要な英語の語学能力が異なるため要確認
	ブリティッシュ・コロンビア大学 The University of British Columbia	第1セメスター：9月～12月 第2セメスター：１月～4月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始。）	英語 学部：TOEFL iBT 90<R/L 22, W/S 21> / IELTS 6.5 <各セクション6.0以上> 大学院：学部の条件以上	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*大阪大学では本募集のみで募集を行う *学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *セメスター毎に9単位以上の履修が必要 *専攻によっては大学院生の研究留学可能 *大学院へ留学する場合、専攻によって必要なGPA要件及び英語の語学能力が異なるため要確認
	マックマスター大学 McMaster University	秋学期：9月～12月 冬学期：1月～4月 （1年間留学の場合は秋学期に留学開始）	英語 TOEFL iBT 86〈各セクション20以上〉/ IELTS 6.5〈各セクション6.0以上〉	学部2年以上 大学院生：GPA 2.70-3.30 / 4.00以上	*大阪大学では本募集のみで募集を行う *大学院へ留学する場合、専攻によって必要な英語の語学能力やGPAが異なるため要確認
ブラジル	カンピーナス大学 University of Campinas	第1セメスター：3月～7月 第2セメスター：8月～12月	ポルトガル語		*学部・専攻によって履修制限があるため要確認
	サンパウロ大学 Universidade de São Paulo	第1セメスター：2月～6月 第2セメスター：8月～12月	ポルトガル語 学部:B1 大学院:B1		*大学院生は学部レベルへの申請不可 *visa取得のため, 週に15時間以上の履修が必要
ペルー	ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学 Pontificia Universidad Católica del Perú	第1セメスター：3月～7月 第2セメスター：8月～12月	スペイン語(B2レベル)又は英語	学部2年以上	*英語のみを使用するコース有り *学部・専攻によって履修制限があるため要確認
メキシコ	メキシコ国立自治大学 Universidad Nacional Autonoma de Mexico	秋学期：8月～12月 春学期：1月～6月 （1年間留学の場合は秋学期に留学開始）	スペイン語 (B2レベル)	GPA 3.2 / 4.0以上	*履修時期に条件有 44% academic fulfillment in current professional studies *学部・専攻によって履修制限があるため要確認
オーストラリア	アデレード大学 The University of Adelaide	第1セメスター：2月～7月 第2セメスター：7月～12月 （1年間留学の場合は第1セメスターに留学開始）	英語 TOEFL iBT 79-94 IELTS 6.5-7.0 ※セクション条件あり	学部2年以上 GPA 2.5 / 4.0以上	*学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *学部・専攻によって要求される英語の語学能力は異なるため要確認
	オーストラリア国立大学 The Australian National University	第1セメスター：2月～6月 第2セメスター：7月～11月	英語 TOEFL iBT 80〈R / W 20以上，S / L 18以上〉/ IELTS 6.5〈各セクション6.0以上〉	学部2年以上 GPA4.0/7.0以上	*学部・専攻によって履修制限があるため要確認 *学部・専攻によって要求される英語の語学能力は異なるため要確認
	クィーンズランド大学 The University of Queensland	第1セメスター：2月～6月 第2セメスター：7月～11月	英語 TOEFL iBT 87<R/L/S/19,W/21> / IELTS 6.5<全セクション6.0以上>)	学部2年以上 成績平均以上	*学部・専攻によって要求される英語の語学能力は異なるため要確認 *Medicine, Dentisty, Physiotherapy, Occupational and Speech Therapy and Vet Scienceへの留学不可
	モナシュ大学 Monash University	第1セメスター：2月～6月 第2セメスター：7月～11月	英語 学部：TOEFL iBT 79〈W 21, L 12, R 13, S 18以上〉 / IELTS 6.5〈各セクション6.0以上〉	学部2年以上 GPA3.0 / 4.0以上	*単位履修のない研究留学は不可 *学部・専攻によって要求される英語の語学能力は異なるため要確認

英語以外の言語で留学する人も、履修科目によっては英語の公式スコアを求められる場合があります。

4. 過去の交換留学派遣人数実績表（協定校別）

大学間協定に基づく交換留学生数

2020 年 3 月現在

協定校	国・地域名	地域名	派遣実績（人）				
			2015	2016	2017	2018	2019
アレキサンドリア大学	エジプト	アフリカ					
カタール大学	カタール	中近東					
インド工科大学ハイデラバード校	インド	アジア					
アイルランガ大学	インドネシア	アジア					
インドネシア大学	インドネシア	アジア					
ガジャマダ大学	インドネシア	アジア					
バンドン工科大学	インドネシア	アジア					
シンガポール国立大学	シンガポール	アジア	-	-		2	1
南洋理工大学	シンガポール	アジア	-	-			
カセサート大学	タイ	アジア	1	1	3	1	2
タマサート大学	タイ	アジア	5	4	2	4	
チェンマイ大学	タイ	アジア	3	4	2	2	
チュラロンコン大学	タイ	アジア	2	2	2	1	1
マヒドン大学	タイ	アジア					1
モンクット王トンブリ工科大学	タイ	アジア					
アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	アジア		2			1
デ・ラ・サール大学	フィリピン	アジア					1
フィリピン国立大学	フィリピン	アジア	1				
ブルネイ・ダルサラーム大学	ブルネイ	アジア	-	-			
スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学	ブルネイ	アジア	-	-			
日越大学	ベトナム	アジア	-	-			
ハノイ医科大学	ベトナム	アジア	-	-	-		
ハノイ国家大学	ベトナム	アジア	-	-			
ベトナム科学技術アカデミー(大学院大学)	ベトナム	アジア	-	-			
ヤンゴン大学	ミャンマー	アジア					
モンゴル国立大学	モンゴル	アジア		1	1	2	1
慶尚大学校	韓国	アジア					
ソウル大学校	韓国	アジア	9	5	4	1	3
昌原大学校	韓国	アジア					
中央大学校	韓国	アジア		4		1	3
忠南大学校	韓国	アジア					
全南大学校	韓国	アジア					
漢陽大学校	韓国	アジア	7	6	2	2	3
釜山大学校	韓国	アジア		4		1	2
延世大学校	韓国	アジア		3	2	2	1

2020 年 3 月現在

協定校	国・地域名	地域名	派遣実績（人）				
			2015	2016	2017	2018	2019
国立交通大学	台湾	アジア					
国立清華大学	台湾	アジア		2			
国立成功大学	台湾	アジア					1
国立台湾大学	台湾	アジア	4	7	1	1	
西安交通大学	中国	アジア					
上海交通大学	中国	アジア					1
清華大学	中国	アジア	3	3	1	3	1
浙江大学	中国	アジア				1	1
同済大学	中国	アジア					1
南京大学	中国	アジア			1		
武漢大学	中国	アジア			1		
復旦大学	中国	アジア	1	1		3	2
北京師範大学	中国	アジア			1	2	1
北京大学	中国	アジア	3	5	4	5	
香港大学	香港	アジア					
香港中文大学	香港	アジア	2	2		1	1
シェフィールド大学	英国	ヨーロッパ		3	1		
ダーラム大学	英国	ヨーロッパ	-	-			
ノッティンガム大学	英国	ヨーロッパ				1	
リーズ大学	英国	ヨーロッパ	7	5	6	2	5
ウィーン大学	オーストリア	ヨーロッパ	2	3	3	3	3
グローニンゲン大学	オランダ	ヨーロッパ	1	3	1	4	1
デルフト工科大学	オランダ	ヨーロッパ					
スイス連邦工科大学チューリッヒ校	スイス	ヨーロッパ					
スイス連邦工科大学ローザンヌ校	スイス	ヨーロッパ					
イェーテボリ大学	スウェーデン	ヨーロッパ	4	3	2	1	3
スウェーデン王立工科大学 (KTH)	スウェーデン	ヨーロッパ					
バリャドリード大学	スペイン	ヨーロッパ				1	
マドリッドアウトノマ大学	スペイン	ヨーロッパ		1			
コペンハーゲン大学	デンマーク	ヨーロッパ	7	4	4	5	4
アーヘン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ		1			
アウクスブルク大学	ドイツ	ヨーロッパ		1			
エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	ドイツ	ヨーロッパ	3	2	2		1
カールスルーエ工科大学	ドイツ	ヨーロッパ	-	-			
ゲッティンゲン大学	ドイツ	ヨーロッパ	1	2	2		
ハイデルベルク大学	ドイツ	ヨーロッパ	2	6	3	2	3
ビーレフェルト大学	ドイツ	ヨーロッパ	1	2			2

Ⅶ 海外留学に関する資料

大学間協定に基づく交換留学生数

2020年3月現在

協定校	国・地域名	地域名	派遣実績（人）				
			2015	2016	2017	2018	2019
ベルリン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ			1		
ミュンヘン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ	1	1			
ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学	ドイツ	ヨーロッパ	3		1	3	1
ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	ドイツ	ヨーロッパ	2	4	2	4	3
ルール・ボーフム大学	ドイツ	ヨーロッパ					1
エトヴェシュ・ロラーンド大学	ハンガリー	ヨーロッパ	3	3		2	1
オーボアカデミー大学	フィンランド	ヨーロッパ	5	7	1	2	2
ヘルシンキ大学	フィンランド	ヨーロッパ	-	-	2	4	3
エックス・マルセイユ大学	フランス	ヨーロッパ		2	1	3	1
グルノーブル大学連合	フランス	ヨーロッパ	5		2		1
ストラスブール大学	フランス	ヨーロッパ	3	5	5	5	1
ルーヴァンカトリック大学(協定終了)	ベルギー	ヨーロッパ	1	1	-	-	
ピエール・マリー・キュリー大学	フランス	ヨーロッパ					
ボルドー大学	フランス	ヨーロッパ				3	
サンクトペテルブルク大学	ロシア	ヨーロッパ	6	5	4	4	2
ウェズリアンカレッジ	アメリカ	北米	3	2	2	2	2
カリフォルニア大学	アメリカ	北米	12	14	19	10	6
ジョージア大学	アメリカ	北米	3	2	3	1	3
テキサスA&M大学	アメリカ	北米	3	2	6	3	2
ナザレスカレッジローチェスター校	アメリカ	北米	2	1	1	1	
パデュー大学	アメリカ	北米		1	1		
ライス大学	アメリカ	北米		1		1	1
ワシントン大学	アメリカ	北米		2	3	3	
トロント大学	カナダ	北米	2	1	1	1	1
ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	北米	3	3	3	5	
マックマスター大学	カナダ	北米	4	3	4	5	
カンピーナス大学	ブラジル	中南米	-	-	-		
サンパウロ大学	ブラジル	中南米	6	4	2	4	
ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学	ペルー	中南米					
メキシコ国立自治大学	メキシコ	中南米			2		1
アデレード大学	オーストラリア	オセアニア			2	2	1
オーストラリア国立大学	オーストラリア	オセアニア	3	2	2	6	2
クィーンズランド大学	オーストラリア	オセアニア	1	2	2	2	
モナシュ大学	オーストラリア	オセアニア	1	1	1	2	1
大学間協定に基づく交換留学生数　合計			141	161	124	132	87

部局間協定に基づく交換留学生数

2020年3月現在

学部・研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	派遣実績（人）				
				2015	2016	2017	2018	2019
文学部 文学研究科	マンチェスター大学	イギリス	ヨーロッパ	2	2	3	2	1
文学部 文学研究科	イーストアングリア大学	イギリス	ヨーロッパ					1
文学部・文学研究科 工学部・工学研究科	パリ・ラヴィレット建築エコール	フランス	ヨーロッパ	1				2
文学部・文学研究科 外国語学部 言語文化研究科	ハイデルベルク大学	ドイツ	ヨーロッパ	5	7	4	7	3
文学部・文学研究科 人間科学部・人間科学研究科	パリ・ディドロ大学	フランス	ヨーロッパ		1			
文学研究科 文学部	ロッテルダム・エラスムス大学(協定終了)	オランダ	ヨーロッパ	1				
文学研究科 文学部	ウプサラ大学	スウェーデン	ヨーロッパ	1		1		
文学研究科 文学部	パラツキー大学	チェコ	ヨーロッパ	1	1		3	
文学研究科 文学部	プラハ・カレル大学	チェコ	ヨーロッパ		1			
文学部 文学研究科	ヤギェロン大学	ポーランド	ヨーロッパ					1
文学研究科	国立台湾師範大学	台湾	アジア	1				
人間科学部 人間科学研究科	トゥール大学	フランス	ヨーロッパ					1
人間科学部 人間科学研究科	リンネ大学(旧ヴェクショー大学)	スウェーデン	ヨーロッパ		1		1	
人間科学部 人間科学研究科	ハインリッヒ・ハイネ・デュッセルドルフ大学	ドイツ	ヨーロッパ				1	
人間科学部 人間科学研究科	ジョージア州立大学	アメリカ	北米					1
法学研究科 高等司法研究科	グローニンゲン大学	オランダ	ヨーロッパ				1	
法学部・法学研究科 高等司法研究科	ベルリン自由大学	ドイツ	ヨーロッパ			2		
法学部 法学研究科	ブレーメン大学	ドイツ	ヨーロッパ				1	
法学部 国際公共政策研究科	チェンマイ大学(協定終了)	タイ	アジア	1				
法学部 国際公共政策研究科	ナンヤン工科大学(協定終了)	シンガポール	アジア	1				
法学部 国際公共政策研究科	シンガポール経営大学	シンガポール	アジア				1	
法学部 国際公共政策研究科	パンナサストラ大学(協定終了)	カンボジア	アジア	5				
法学部 国際公共政策研究科	国立東ティモール大学(協定終了)	東ティモール	アジア	1				
国際公共政策研究科	国立東ティモール大学	東ティモール	アジア			1		
経済学研究科 国際公共政策研究科	メキシコ大学院大学	メキシコ	中南米				1	1
経済学部	ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	北米		3	4	2	3
経済学部	ESSECビジネススクール（Global BBA)	フランス	ヨーロッパ				1	4
経済学研究科	ESSECビジネススクール（MSc）	フランス	ヨーロッパ	3	2	2	3	3
経済学部 経済学研究科	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	イギリス	ヨーロッパ	2		2	3	1
経済学部 経済学研究科	パリ商科大学	フランス	ヨーロッパ	1	1			1
経済学部 経済学研究科	国立台湾大学	台湾	アジア		1	2	1	2
経済学部 経済学研究科	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	ドイツ	ヨーロッパ				2	1
理学部 理学研究科	ドレスデン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ			1	1	

Ⅶ 海外留学に関する資料

2020年3月現在

学部・研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	派遣実績（人）				
				2015	2016	2017	2018	2019
理学部 理学研究科	ペルージャ大学	イタリア	ヨーロッパ				1	
医学系研究科 医学部	マレーシアサラワク大学	マレーシア	アジア		4	4	4	
医学系研究科 医学部	国立台湾大学	台湾	アジア		1	2	1	
医学系研究科 医学部	台北医学大学	台湾	アジア		1	4		
医学系研究科 医学部	北京大学	中国	アジア		3	5	7	6
医学系研究科 医学部	清華大学	中国	アジア			1		1
医学系研究科 医学部	天津中医薬大学	中国	アジア			1		3
医学系研究科 医学部	香港中文大学	香港	アジア			1	3	
医学系研究科 医学部	ソウル大学校	韓国	アジア		2			
医学系研究科 医学部	延世大学校	韓国	アジア		1	6	10	5
医学系研究科 医学部	マヒドン大学ラマディボディ病院	タイ	アジア			1	2	
医学研究科 医学部	マヒドン大学	タイ	アジア				5	
医学系研究科 医学部	グローニンゲン大学	オランダ	ヨーロッパ		4	3	1	1
医学系研究科 医学部	カロリンスカ研究所（カロリンスカ大学）	スウェーデン	ヨーロッパ			2		
医学系研究科 医学部	ロンドン大学クイーンメアリー校	イギリス	ヨーロッパ		2	2	2	
医学系研究科 医学部	モナシュ大学	オーストラリア	オセアニア		2	1	2	
医学系研究科 医学部	UAE大学	アラブ首長国連邦	中東			2	2	
工学部 工学研究科	ベルリン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ		2			
工学部 工学研究科	アーヘン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ				2	
工学部 工学研究科	ナント中央理工学院	フランス	ヨーロッパ			1		
基礎工学部 基礎工学研究科	スウェーデン王立工科大学	スウェーデン	ヨーロッパ					1
基礎工学部 基礎工学研究科	アーヘン工科大学	ドイツ	ヨーロッパ	1	1			
基礎工学部 基礎工学研究科	ダルムシュタット大学	ドイツ	ヨーロッパ					2
基礎工学部 基礎工学研究科	シンガポール国立大学	シンガポール	アジア	1				
基礎工学部 基礎工学研究科	トロント大学	カナダ	北米	2	1	1	1	2
基礎工学部 基礎工学研究科	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	ヨーロッパ			2		
薬学研究科 薬学部	アリゾナ大学	米国	北米	3			3	
薬学研究科 薬学部	浙江大学	中国	アジア			9		5
外国語学部 言語文化研究科	ウラル連邦大学	ロシア	ヨーロッパ	2	1	1	2	1
外国語学部 言語文化研究科	モスクワ言語大学	ロシア	ヨーロッパ		4	2	1	2

2020年3月現在

学部・研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	派遣実績（人）				
				2015	2016	2017	2018	2019
人間科学研究科 外国語学部 言語文化研究科	南デンマーク大学	デンマーク	ヨーロッパ	1	1			
外国語学部 言語文化研究科 日本語日本文化教育センター	トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学	フランス	ヨーロッパ	1		1	1	
外国語学部 言語文化研究科	エクス-マルセイユ大学（プロヴァンス大学） （協定終了）	フランス	ヨーロッパ	2				
外国語学部	リール政治学院	フランス	ヨーロッパ		1	1	1	1
文学部・文学研究科 外国語学部 言語文化研究科	ゲッティンゲン大学	ドイツ	ヨーロッパ			1	1	1
外国語学部 言語文化研究科	セゲド大学	ハンガリー	ヨーロッパ		1	1		1
外国語学部 言語文化研究科	リスボン新大学	ポルトガル	ヨーロッパ	1				
外国語学部 言語文化研究科 日本語日本文化教育センター	ルーヴァンカトリック大学 (KU Leuven)	ベルギー	ヨーロッパ			1	1	
外国語学部 言語文化研究科 日本語日本文化教育センター	チューリヒ大学	スイス	ヨーロッパ					2
外国語学部 言語文化研究科 日本語日本文化教育センター	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	英国	ヨーロッパ				2	
外国語学部 言語文化研究科	ストックホルム大学	スウェーデン	ヨーロッパ				1	2
外国語学部 言語文化研究科	ジョージア州立大学	アメリカ	北米	1	1			
外国語学部 言語文化研究科	フルミネンセ連邦大学	ブラジル	中南米				1	
外国語学部 言語文化研究科 日本語日本文化教育センター	ウェリントン・ヴィクトリア大学	ニュージーランド	オセアニア			1		
外国語学部 言語文化研究科	深圳大学	中国	アジア				1	1
外国語学部 言語文化研究科	ジャワーハルラール・ネルー大学	インド	アジア		1			
外国語学部 言語文化研究科	デリー大学	インド	アジア		2	4	1	3
外国語学部 言語文化研究科	シラパコーン大学	タイ	アジア	2	3	3	2	2
外国語学部 言語文化研究科	コーンケーン大学	タイ	アジア	3		1		2
外国語学部 言語文化研究科	ハノイ大学	ベトナム	アジア		2	1	4	1
外国語学部 言語文化研究科	ハロン大学	ベトナム	アジア					3
外国語学部 言語文化研究科	ホーチミン市師範大学	ベトナム	アジア				1	1
外国語学部 言語文化研究科	ホーンバーン国際大学	ベトナム	アジア		1			
外国語学部	ボアジチ大学	トルコ	中東				3	1
外国語学部 言語文化研究科	カイロ大学	エジプト	アフリカ		1			1
外国語学部 言語文化研究科	アスワン大学	エジプト	アフリカ			1		
部局間協定に基づく交換留学生数　合計				46	63	89	100	77
大学間・部局間協定に基づく交換留学生数　合計				**187**	**224**	**213**	**232**	**164**

備考：数字は年度計算（4月～3月）にて。